

**認知症の高齢者に関するアンケート
中間報告書**

令和元年(2019年)10月

草津市

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査項目.....	1
3. 調査設計.....	1
4. 回収結果.....	1
5. 報告書の見方.....	2
II 調査結果(一般市民)	3
1. 回答者の属性.....	3
2. 認知症に対する知識と認識について.....	5
3. 自分自身や家族が認知症になった場合について.....	8
4. 認知症予防について.....	12
5. 認知症に関する制度やサービスについて.....	13
III 調査結果(家族)	20
1. 主に介護を行っている人について.....	20
2. 介護を受けている本人について.....	22
3. 発症から相談、医療機関へのつながりの状況について.....	24
4. 相談相手と周囲とのかかわりについて.....	31
5. サービス・制度について.....	34

I 調査概要

1. 調査の目的

草津市において、認知症になっても本人、家族ともに安心して生活できるまちをめざし、認知症の正しい理解の啓発や、早期発見・早期対応、地域での見守り、認知症の人やその家族への支援体制の充実など、「草津市認知症施策アクションプラン」策定のための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2. 調査項目

○一般市民用

- (1) 回答者の属性
- (2) 認知症に対する知識と認識について
- (3) 自分自身や家族が認知症になった場合について
- (4) 認知症予防について
- (5) 認知症に関する制度やサービスについて

○家族用

- (1) 主に介護を行っている人について
- (2) 介護を受けている本人について
- (3) 発症から相談、医療機関へのつながりの状況について
- (4) 相談相手と周囲とのかかわりについて
- (5) サービス・制度について

○本人用

- (1) 最近話した人について
- (2) 認知症になったときの相談先について
- (3) 認知症の人にとって暮らしやすい地域について

3. 調査設計

	一般市民用	家族用	本人用
調査対象	20～74歳の市民を無作為抽出	平成31年4月1日時点で介護認定を受けている人のうち、日常生活自立度が「Ⅰ」以上の人の家族	平成31年4月1日時点で介護認定を受けている人のうち、日常生活自立度が「Ⅰ」もしくは「Ⅱa」の人
調査方法	郵送による調査票の配布・回収		認定調査員による聞き取り
調査期間	令和元年●月●日～●月●日	令和元年●月●日～●月●日	令和元年●月●日～●月●日

4. 回収結果（中間集計）

配布数	発送数	回収数	白票・無効票	有効回答数	有効回答率
一般市民用	1000人	342票	0票	342票	34.2%
家族用	500人	239票	1票	238票	47.6%
本人用		159票			

5. 報告書の見方

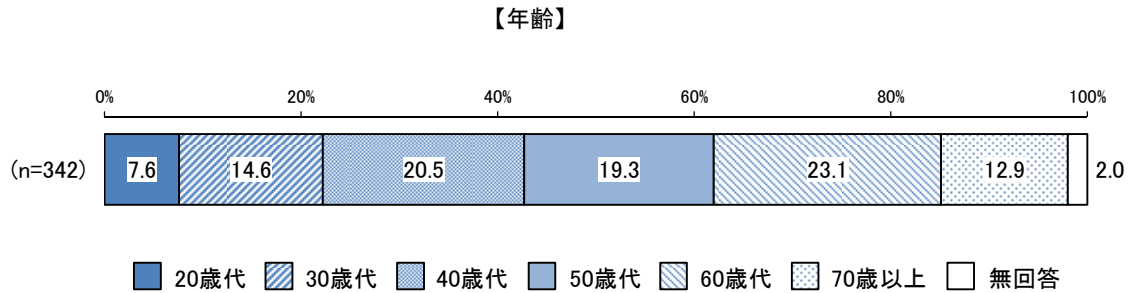
- (1) 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してある。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%を上下することがある。回答者数(n)が少ない場合は比率の数字が動きやすいため、厳密な比較をすることは難しいので、回答の傾向をみる程度になる。
- (2) 複数回答を依頼した質問では、回答比率の合計が 100%を超える。
- (3) 図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢を短縮している場合がある。

Ⅱ 調査結果（一般市民）

1. 回答者の属性

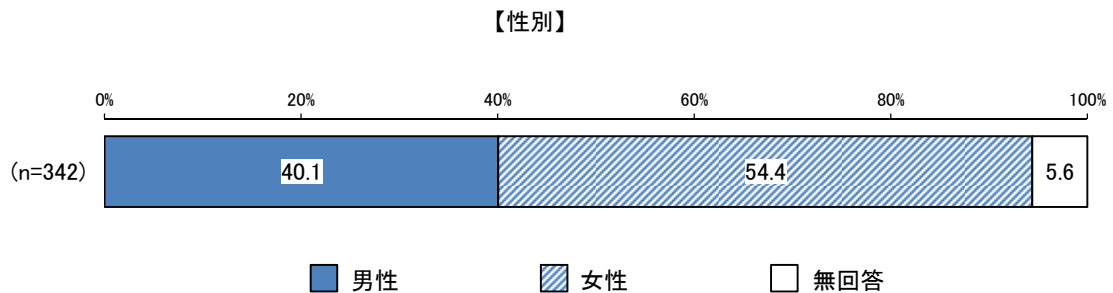
(1) 年齢

回答者の年齢は、「60 歳代」が 23.1%で最も高く、次いで「40 歳代」が 20.5%、「50 歳代」が 19.3%、「30 歳代」が 14.6%、「70 歳以上」が 12.9%となっており、50 歳以上の回答者が半数以上を占めている。



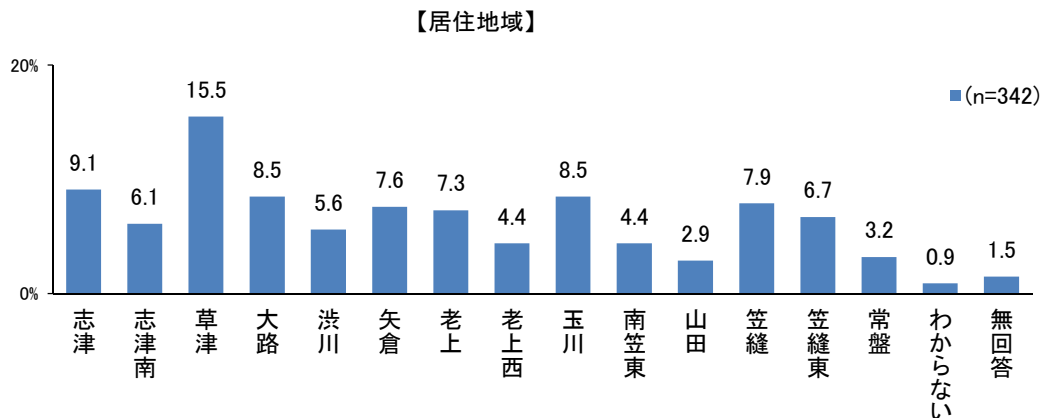
(2) 性別

回答者の性別は、「男性」が 40.1%、「女性」が 54.4%となっている。



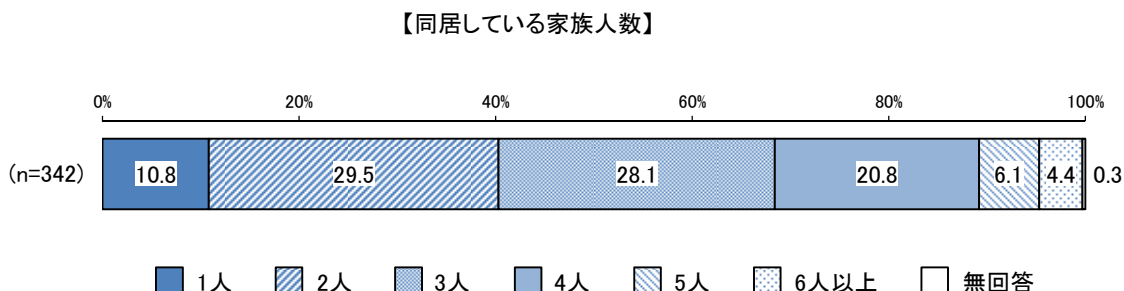
(3) 居住地

回答者の居住地は、「草津」が 15.5%で最も高く、次いで「志津」が 9.1%、「大路」と「玉川」がともに 8.5%、「笠縫」が 7.9%、「矢倉」が 7.6%、「老上」が 7.3%となっている。



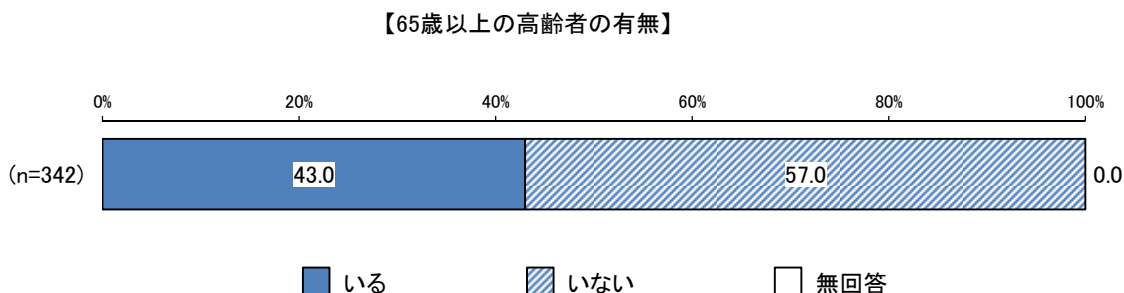
(4)同居している家族人数

同居している家族人数は、「2人」が29.5%で最も高く、次いで「3人」が28.1%、「4人」が20.8%となっている。一方、「1人」は10.8%となっている。



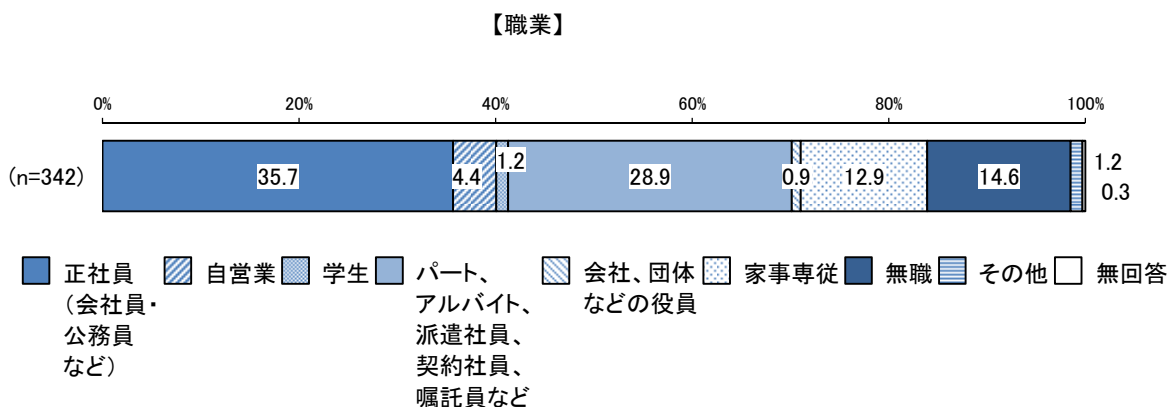
(5) 65歳以上の高齢者の有無

同居者のうちの65歳以上の高齢者の有無については、「いる」が43.0%、「いない」が57.0%となっている。



(6)職業

回答者の職業は、「正社員(会社員・公務員など)」が35.7%で最も高く、次いで「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託員など」が28.9%、「無職」が14.6%、「家事専従」が12.9%となっており、就労中の回答者が約70%となっている。

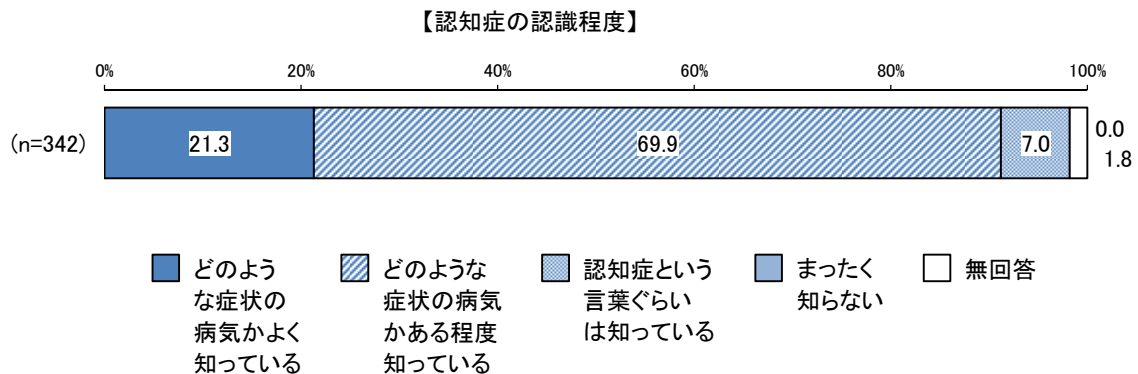


2. 認知症に対する知識と認識について

(1) 認知症の認識程度

問2 あなたは、認知症という病気について、どの程度ご存知ですか。

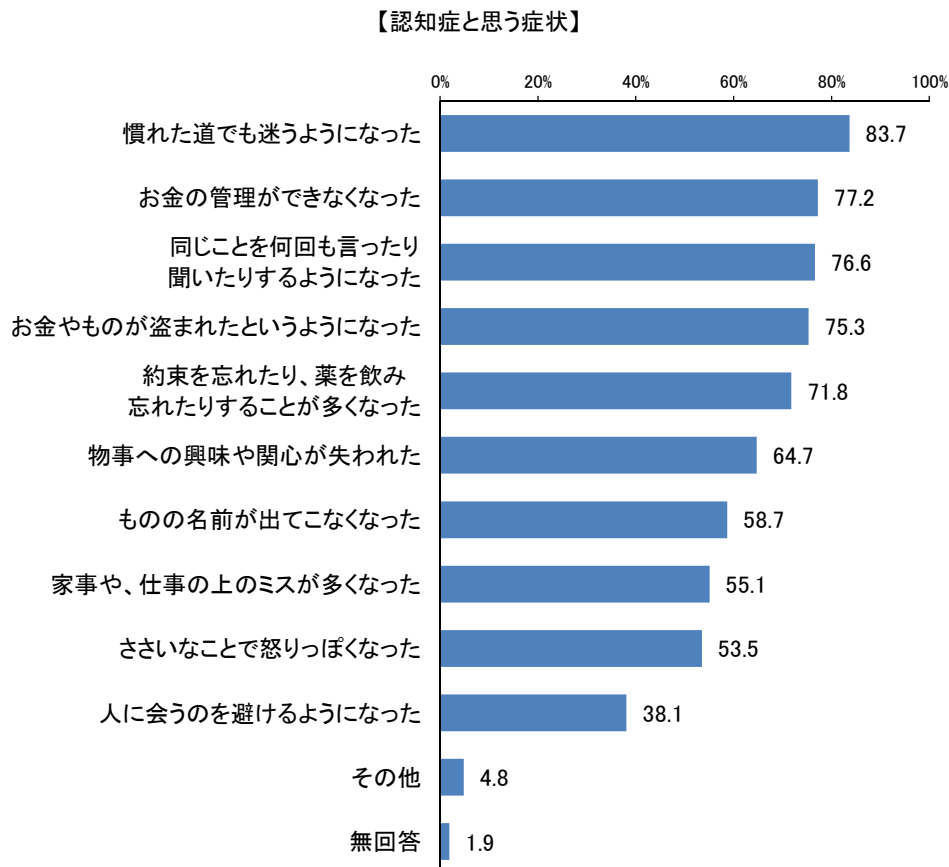
認知症に対する認識については、「どのような症状の病気かある程度知っている」が 69.9%で最も高く、次いで「どのような症状の病気かよく知っている」が 21.3%となっている。



(2) 認知症と思う症状

問3 あなたが認知症の症状だと思うのは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

認知症だと思う症状は、「慣れた道でも迷うようになった」が 83.7%で最も高く、次いで「お金の管理ができなくなった」が 77.2%、「同じことを何回も言ったり聞いたりするようになった」が 76.6%、「お金やものが盗まれたというようになった」が 75.3%、「約束を忘れたり、薬を飲み忘れたりすることが多くなった」が 71.8%となっている。

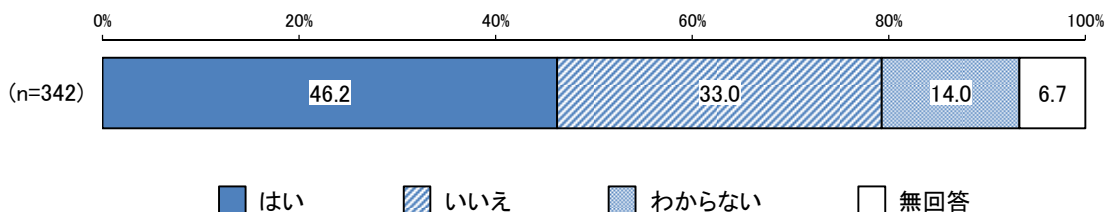


(3) 自分自身が認知症になった場合のことを考えたことがあるか

問4 あなたは、自分自身が認知症になった場合のことを考えたことがありますか。

自分自身が認知症になった場合のことを考えたことがあるかについては、「はい」が 46.2%、「いいえ」が 33.0%、「わからない」が 14.0%となっている。

【自分自身が認知症になった場合のことを考えたことがあるか】

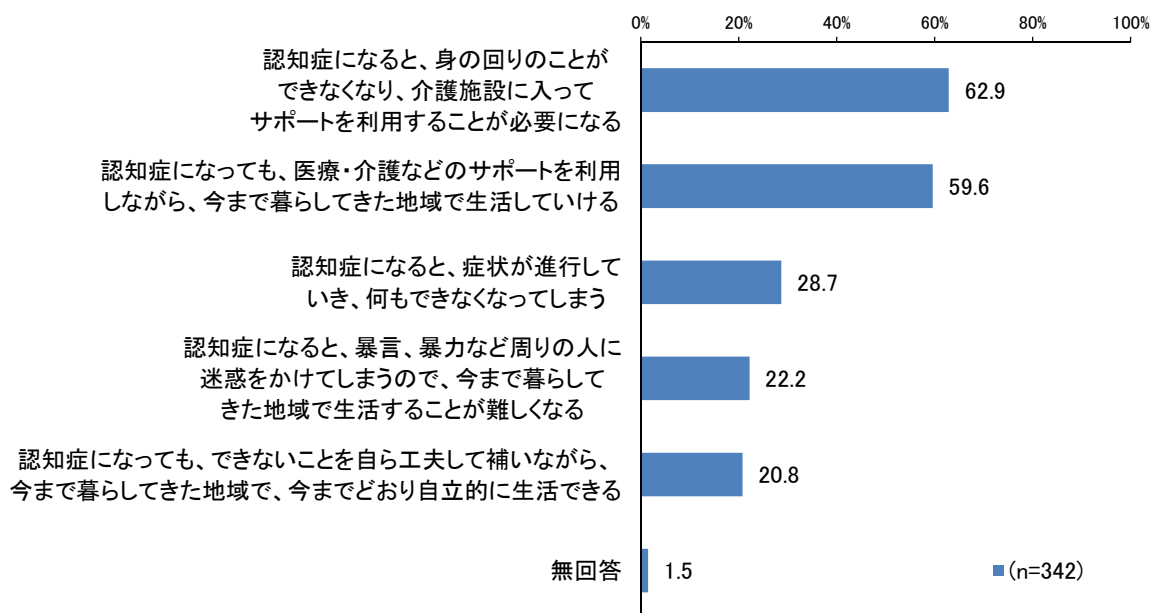


(4) 認知症に対するイメージ

問5 あなたの認知症に対するイメージは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

認知症に対するイメージについては、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が 62.9%で最も高く、次いで「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 59.6%、「認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう」が 28.7%となっている。

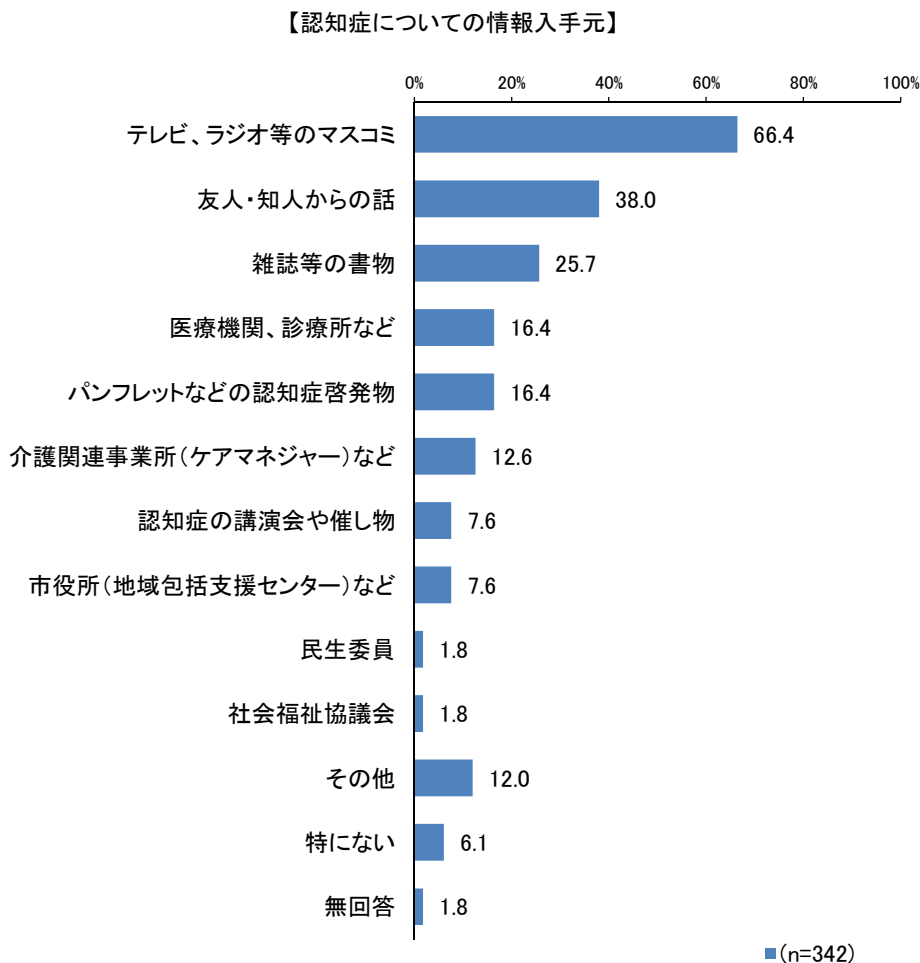
【認知症に対するイメージ】



(5) 認知症についての情報入手元

問6 認知症の情報を何から得られていますか。(あてはまるものすべてに○)

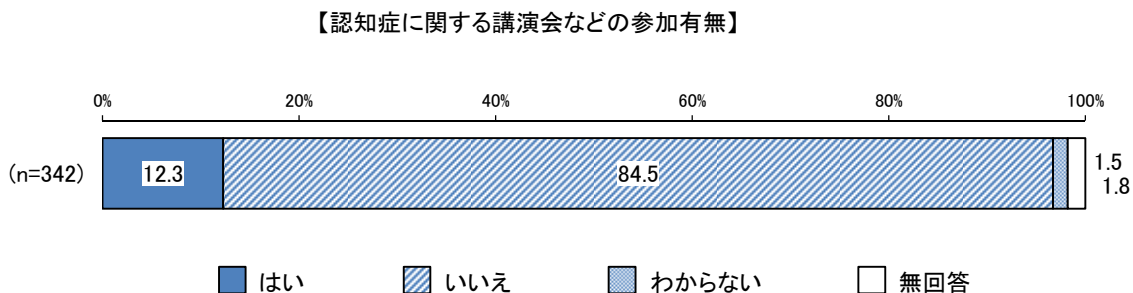
認知症についての情報入手元は、「テレビ、ラジオ等のマスコミ」が 66.4%で最も高く、次いで「友人・知人からの話」が 38.0%、「雑誌等の書物」が 25.7%となっている。



(6) 認知症に関する講演会などの参加有無

問7 これまでに認知症に関する講演会や催しに参加したことはありますか。

これまでに認知症に関する講演会や催しに参加したことがあるかについては、「いいえ」が 84.5%と高く、「はい」は 12.3%となっている。



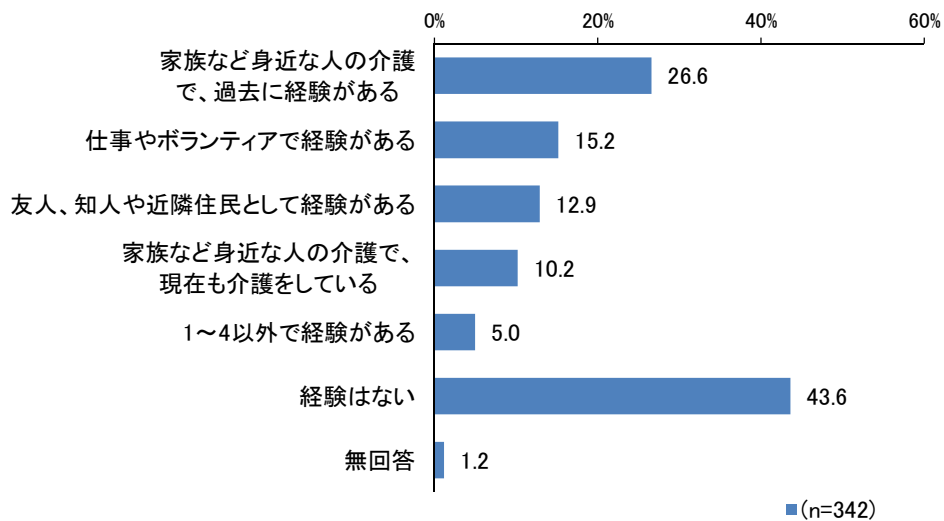
3. 自分自身や家族が認知症になった場合について

(1) 認知症の人と接した経験

問8 あなたは、今までに認知症の方と接した経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の人と接した経験については、「経験はない」が 43.6%で最も高く、次いで「家族など身近な人の介護で、過去に経験がある」が 26.6%、「仕事やボランティアで経験がある」が 15.2%、「友人、知人や近隣住民として経験がある」が 12.9%、「家族など身近な人の介護で、現在も介護をしている」が 10.2%となっている。

【認知症の人と接した経験】

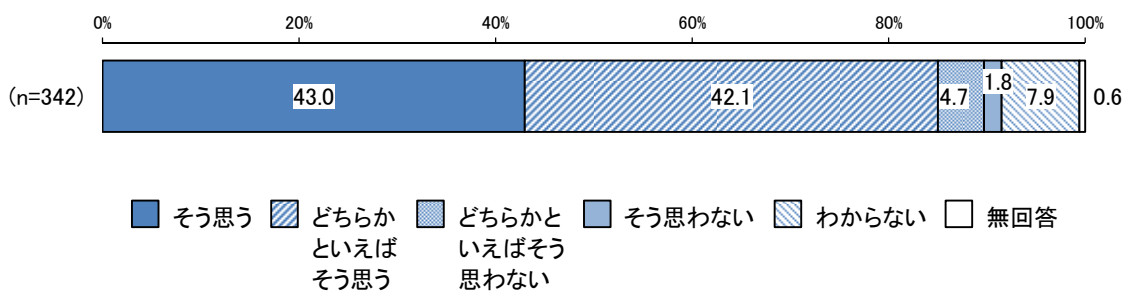


(2) 周囲の人の対応によって認知症の症状の進行が変わると思うか

問9 あなたは、周囲の人の対応によって、認知症の症状の進行が変わると思いますか。

周囲の人の対応によって認知症の症状の進行が変わると思うかについては、「そう思う」(43.0%)と、「どちらかといえばそう思う」(42.1%)が合わせて 85.1%となっている。

【周囲の人の対応によって認知症の症状の進行が変わると思うか】

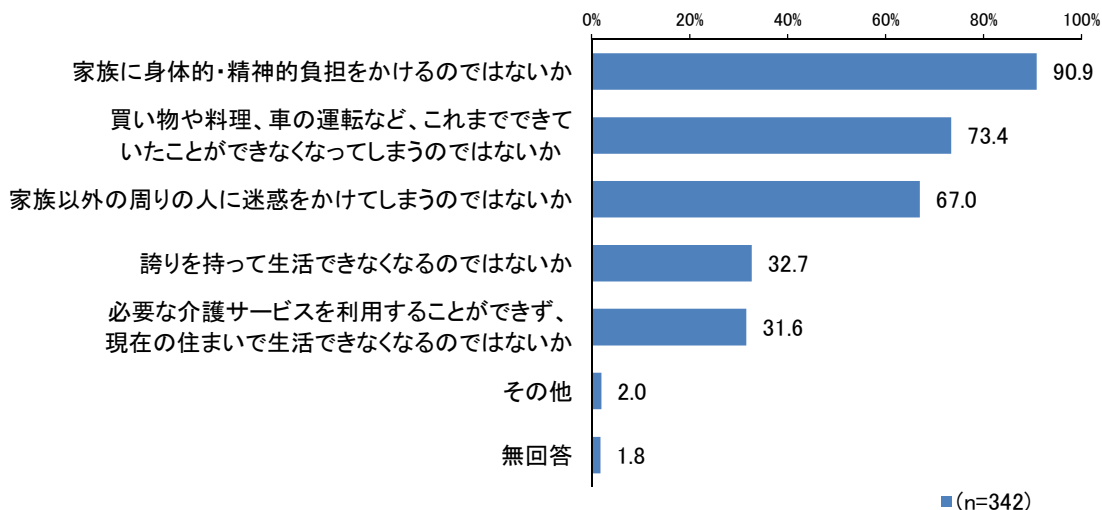


(3) 認知症に対する不安

問10 あなたの認知症に対する不安は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

認知症に対する不安については、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 90.9%で最も高く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 73.4%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 67.0%となっている。

【認知症に対する不安】

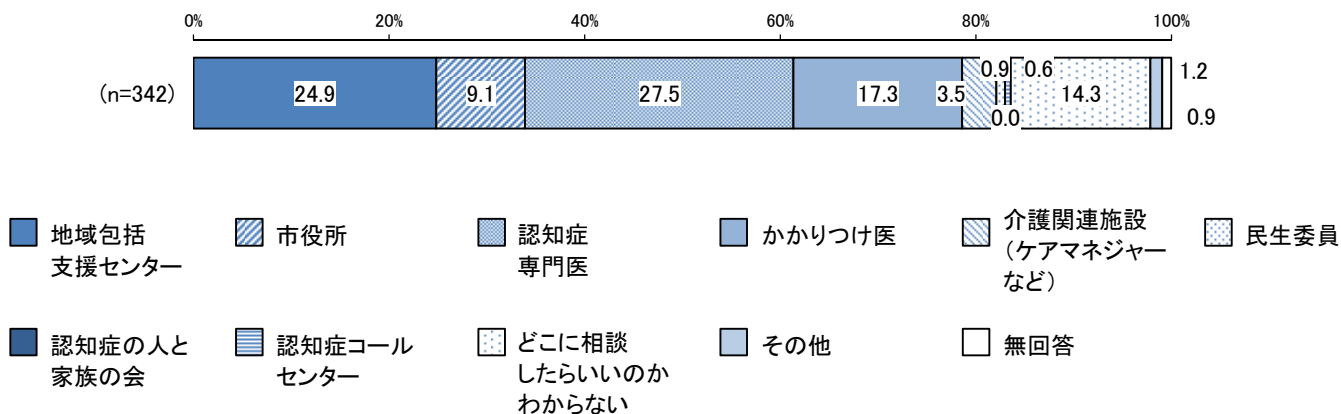


(4) 認知症の疑いがある場合の相談機関

問11 もし、あなたやあなたの家族が認知症の疑いがあるとき、家族や知人以外では、まず、どこに(だれに)相談すると思いますか。(もっともあてはまるものに○)

認知症の疑いがある場合にまず相談する機関については、「認知症専門医」が 27.5%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 24.9%、「かかりつけ医」が 17.3%、「どこに相談したらいいのかわからない」が 14.3%となっている。

【認知症の疑いがある場合の相談機関】

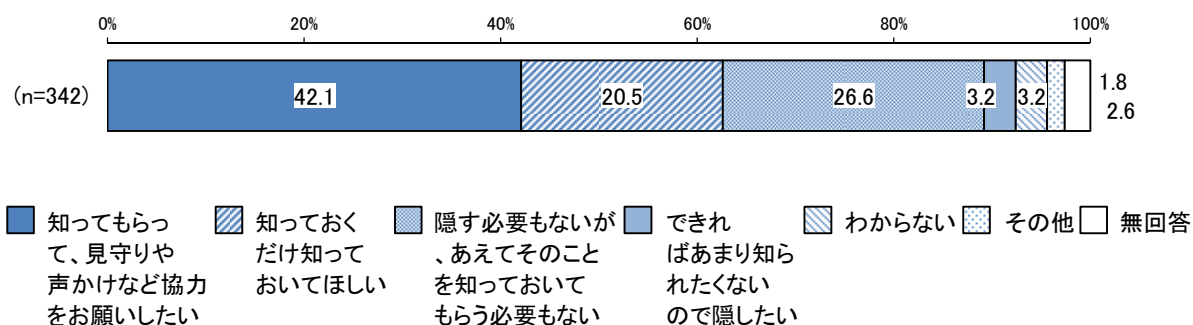


(5) 家族が認知症になった場合に近所の人を知ってもらいたい

問12 もし、あなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人を知ってもらおうと思いますか。
(もっともあてはまるものに○)

家族が認知症になった場合にそのことを近所の人を知ってもらいたいについては、「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が 42.1%で最も高く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」が 26.6%、「知っておくだけ知っておいてほしい」が 20.5%となっている。

【家族が認知症になった場合に近所の人を知ってもらいたい】

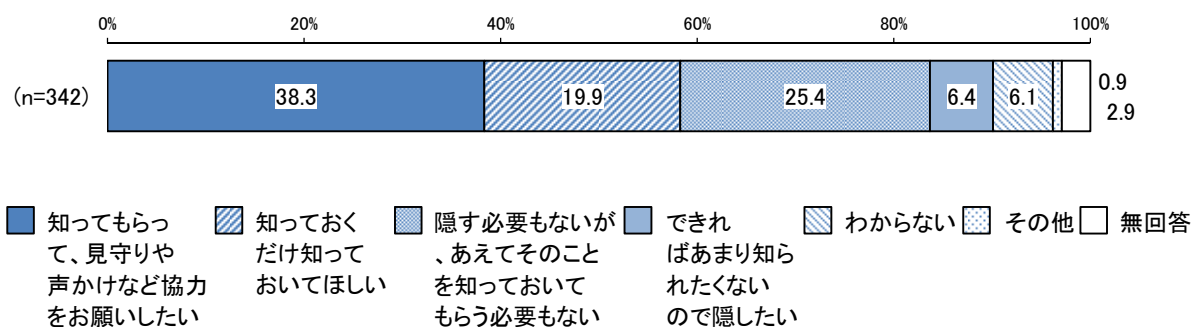


(6) 自分自身が認知症になった場合に近所の人を知ってもらいたい

問13 もし、あなたが認知症になったら、そのことを近所の人を知ってもらおうと思いますか。(もっともあてはまるものに○)

自分自身が認知症になった場合にそのことを近所の人を知ってもらいたいについては、「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が 38.3%で最も高く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」が 25.4%、「知っておくだけ知っておいてほしい」が 19.9%となっている。

【自分自身が認知症になった場合に近所の人を知ってもらいたい】

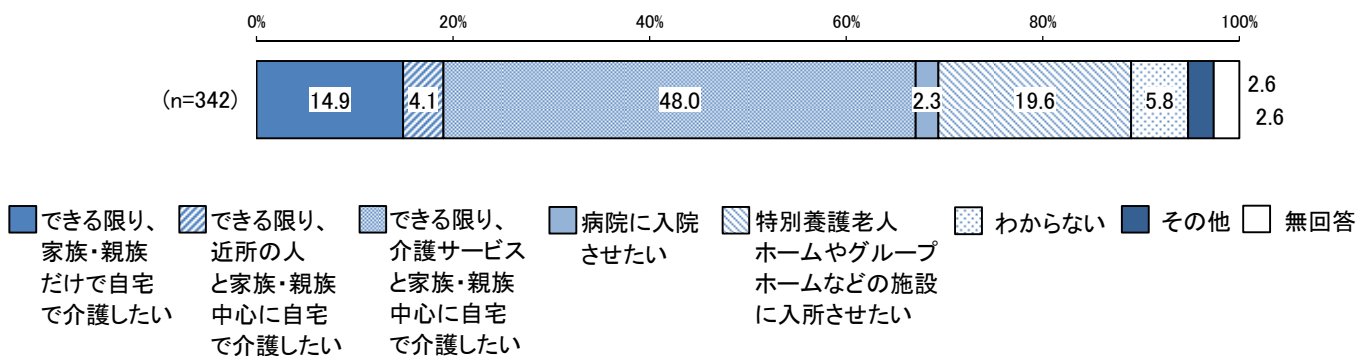


(7) 家族が認知症になった場合の生活場所

問14 もし、あなたの家族が認知症になったら、どこで生活したいですか。(もっともあてはまるものに○)

家族が認知症になった場合に希望する生活場所については、「できる限り、介護サービスと家族・親族中心に自宅で介護したい」が 48.0%で最も高く、次いで「特別養護老人ホームやグループホームなどの施設に入所させたい」が 19.6%、「できる限り、家族・親族だけで自宅で介護したい」が 14.9%となっている。

【家族が認知症になった場合の生活場所】

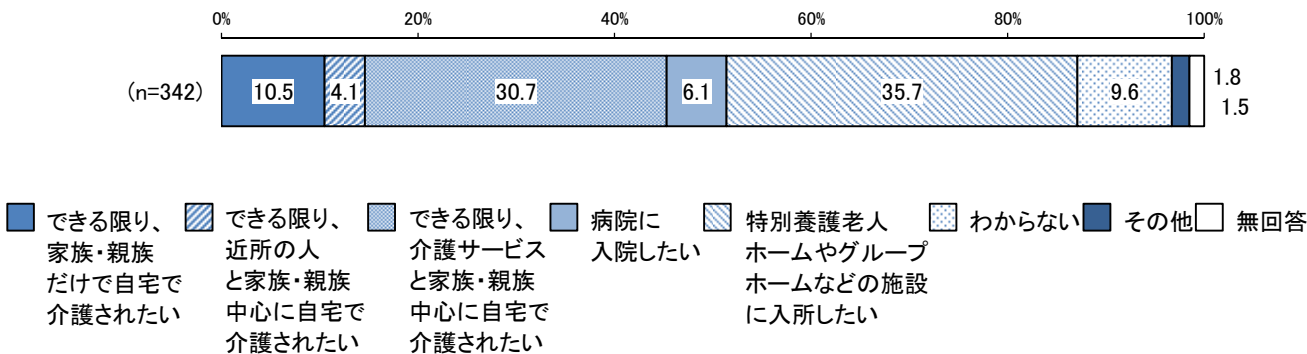


(8) 自分自身が認知症になった場合の生活場所

問15 もし、あなたが認知症になったら、どこで生活したいですか。(もっともあてはまるものに○)

自分自身が認知症になった場合に希望する生活場所については、「特別養護老人ホームやグループホームなどの施設に入所したい」が 35.7%で最も高く、次いで「できる限り、介護サービスと家族・親族中心に自宅で介護されたい」が 30.7%、「できる限り、家族・親族だけで自宅で介護されたい」が 10.5%となっている。

【自分自身が認知症になった場合の生活場所】



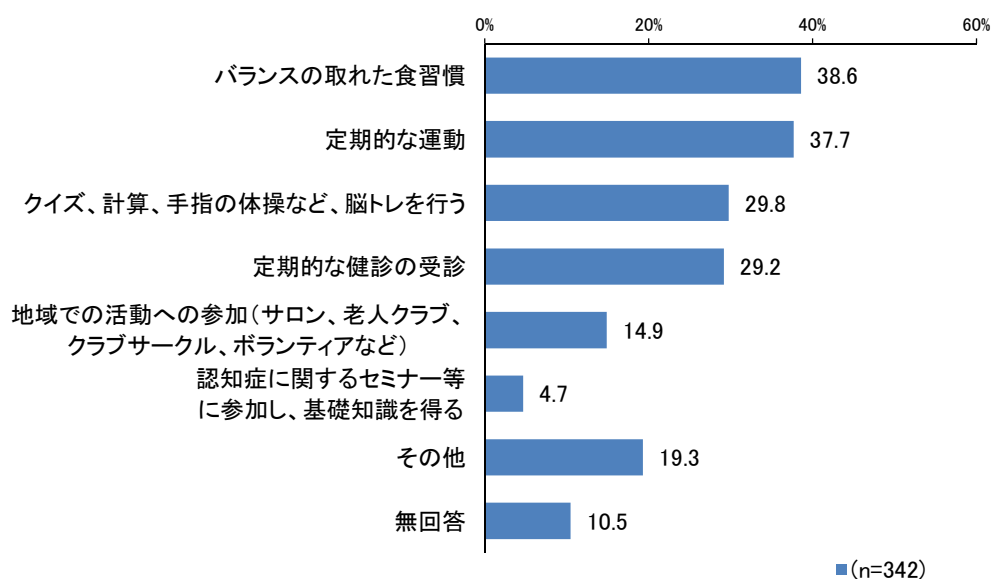
4. 認知症予防について

(1) 認知症予防のために取り組んでいること

問16 あなたが認知症の予防のために取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症予防のために取り組んでいることは、「バランスの取れた食習慣」が38.6%で最も高く、次いで「定期的な運動」が37.7%、「クイズ、計算、手指の体操など、脳トレを行う」が29.8%、「定期的な健診の受診」が29.2%となっている。

【認知症予防のために取り組んでいること】

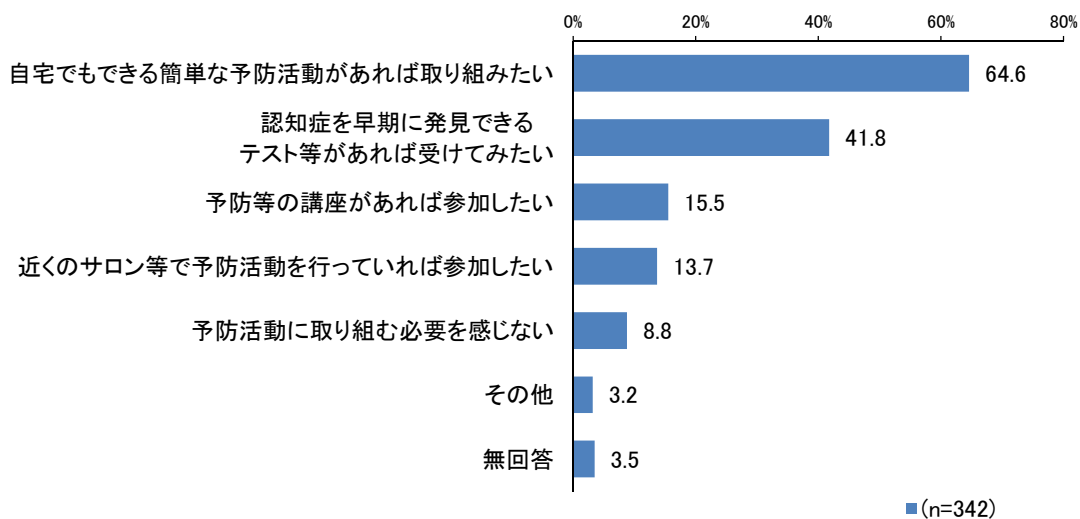


(2) 認知症予防についての考え方

問17 認知症の予防についてどのように考えますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症予防についての考え方については、「自宅でもできる簡単な予防活動があれば取り組みたい」が64.6%で最も高く、次いで「認知症を早期に発見できるテスト等があれば受けてみたい」が41.8%となっている。

【認知症予防についての考え方】

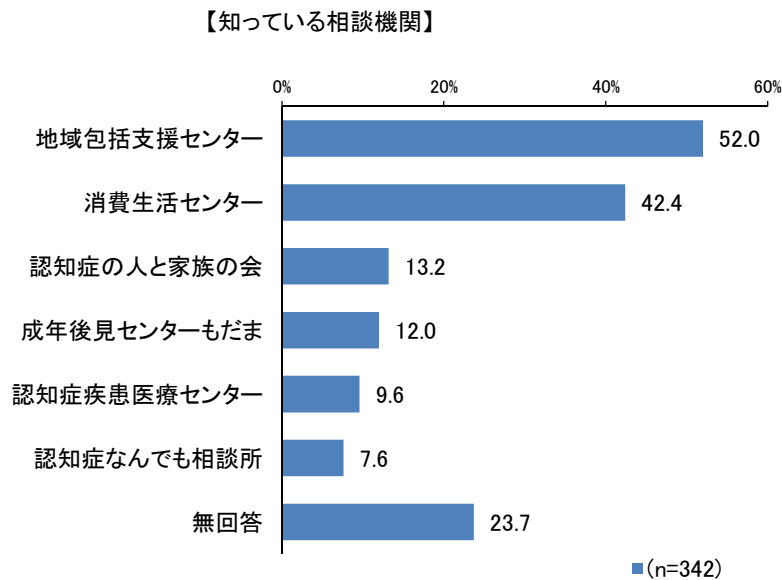


5. 認知症に関する制度やサービスについて

(1) 知っている相談機関

問18 次のうち、あなたが知っているものすべてに○をしてください。

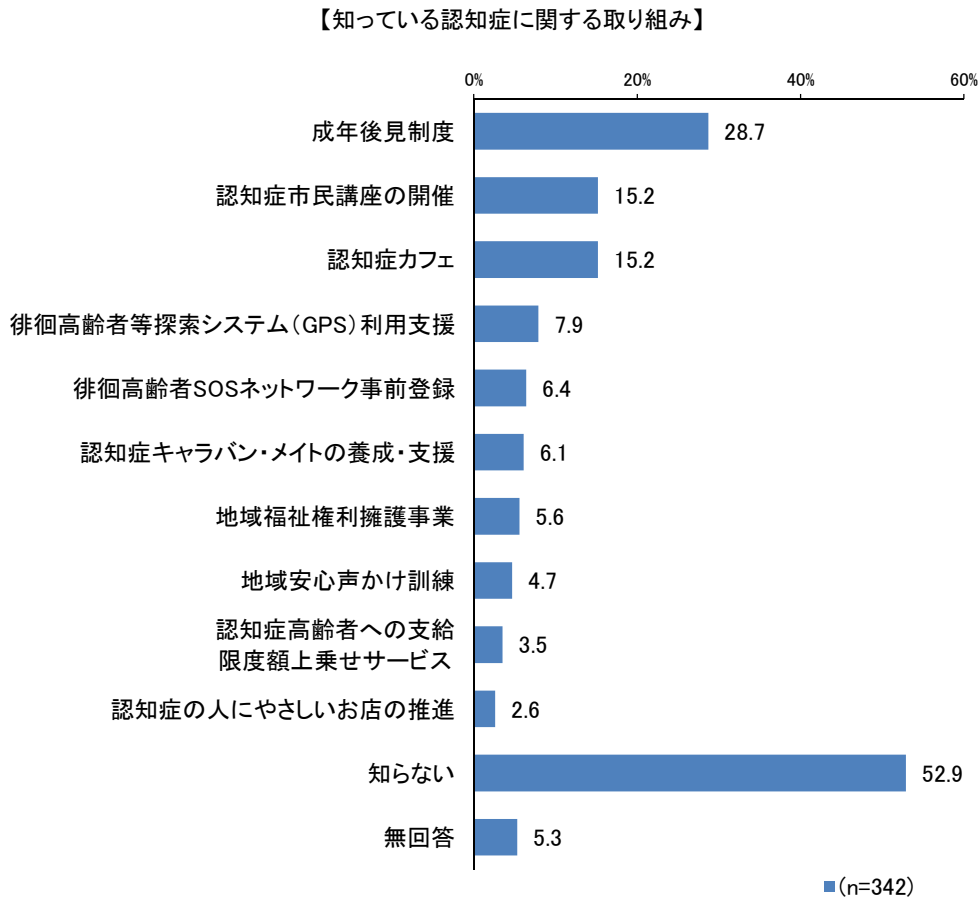
知っている相談機関については、「地域包括支援センター」が 52.0%で最も高く、次いで「消費生活センター」が 42.4%となっている。



(2) 知っている認知症に関する取り組み

問19 市等が実施している、認知症に関する取組のうち、知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

知っている認知症に関する取り組みについては、「知らない」が 52.9%と高くなっている。取り組みとしては、「成年後見制度」が28.7%で最も高く、次いで「認知症市民講座の開催」と「認知症カフェ」がともに15.2%となっている。

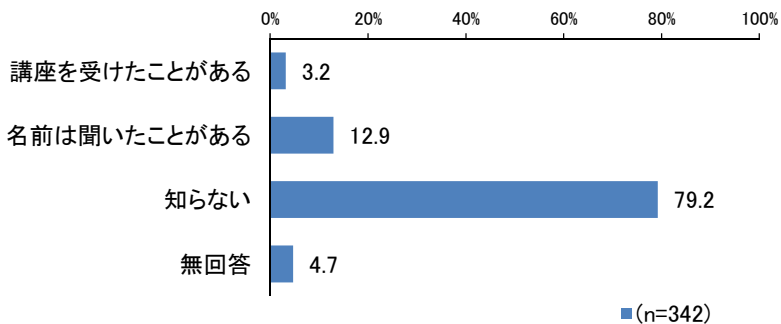


(3) 認知症サポーター養成講座の認知状況

問20 草津市では「認知症サポーター養成講座」を開催していますが、知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「認知症サポーター養成講座」については、「知らない」が 79.2%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」が 12.9%、「講座を受けたことがある」が 3.2%となっている。

【認知症サポーター養成講座の認知状況】

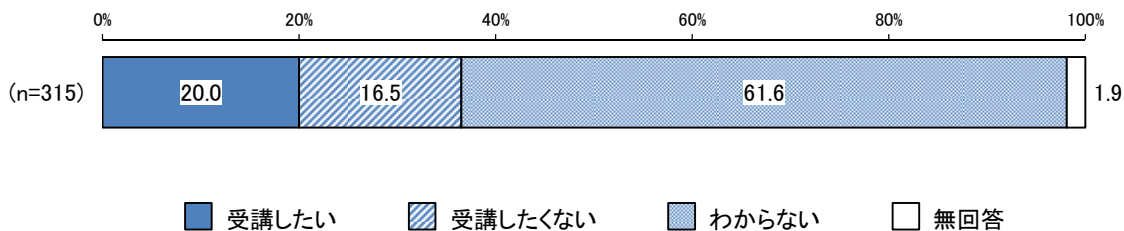


(4) 認知症サポーター養成講座の受講意向

問21 問20で「2. 名前は聞いたことがある」または「3. 知らない」とお答えされた方におうかがいします。あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思いますか。

認知症サポーター養成講座の受講意向については、「わからない」が 61.6%で最も高く、次いで「受講したい」が 20.0%、「受講したくない」が 16.5%となっている。

【認知症サポーター養成講座の受講意向】

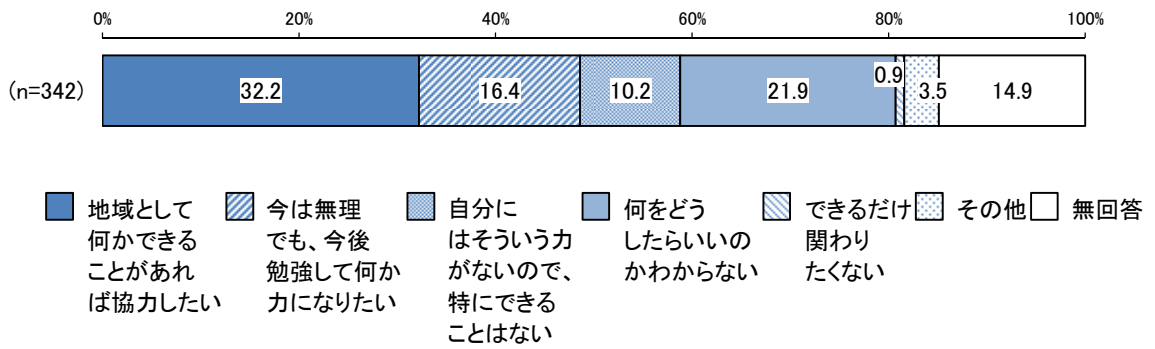


(5) 近所に認知症の人がいた場合の考え・行動

問22 あなたの近所に認知症の方がいる場合、どのように感じ、どのように行動したいですか。(もっともあてはまるものに○)

近所に認知症の人がいた場合の考え・行動については、「地域として何かできることがあれば協力したい」が 32.2%で最も高く、次いで「何をどうしたらいいのかわからない」が 21.9%、「今は無理でも、今後勉強して何か力になりたい」が 16.4%となっている。

【近所に認知症の人がいた場合の考え・行動】



(6) 認知症の人・家族介護者への支援方法

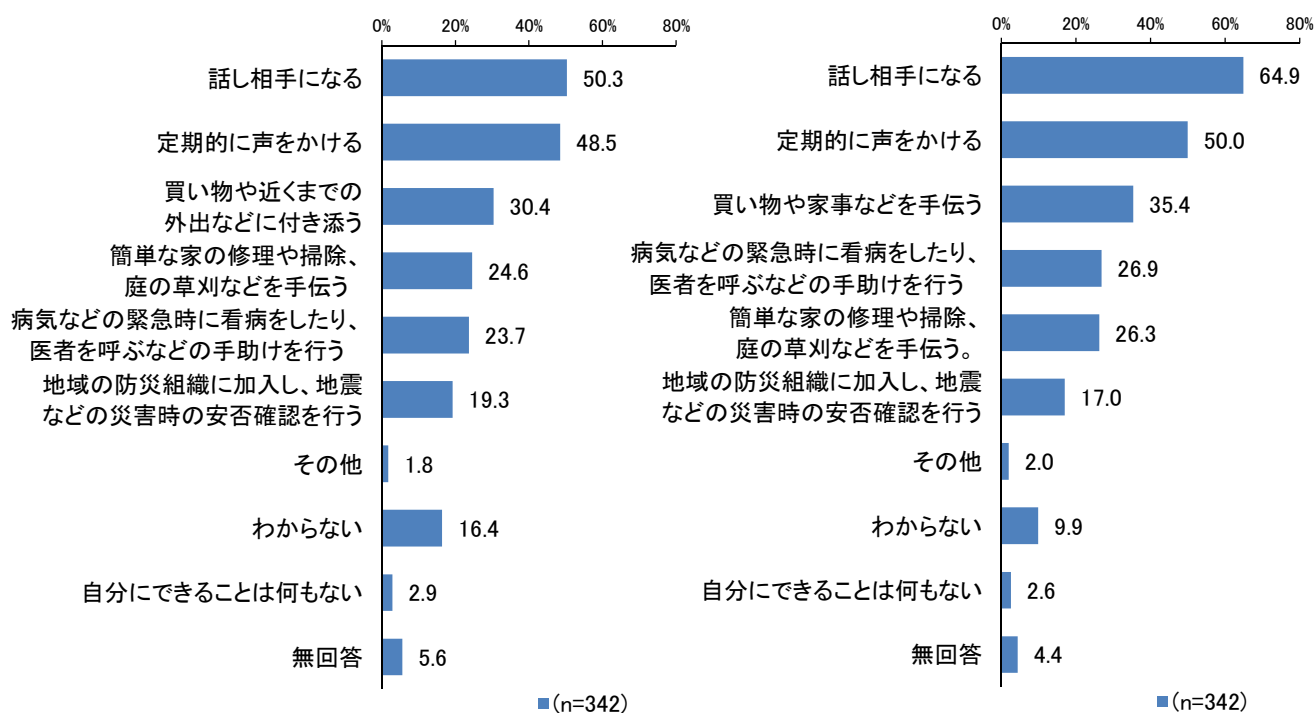
問23 認知症の方とその家族を支えるとしたら、あなたにはどんなことができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の人への支援方法については、「話し相手になる」が50.3%で最も高く、次いで「定期的に声をかける」が48.5%、「買い物や近くまでの外出などに付き添う」が30.4%となっている。

家族介護者への支援方法については、「話し相手になる」が64.9%で最も高く、次いで「定期的に声をかける」が50.0%、「買い物や家事などを手伝う」が35.4%となっている。

【認知症の人への支援方法】

【家族介護者への支援方法】

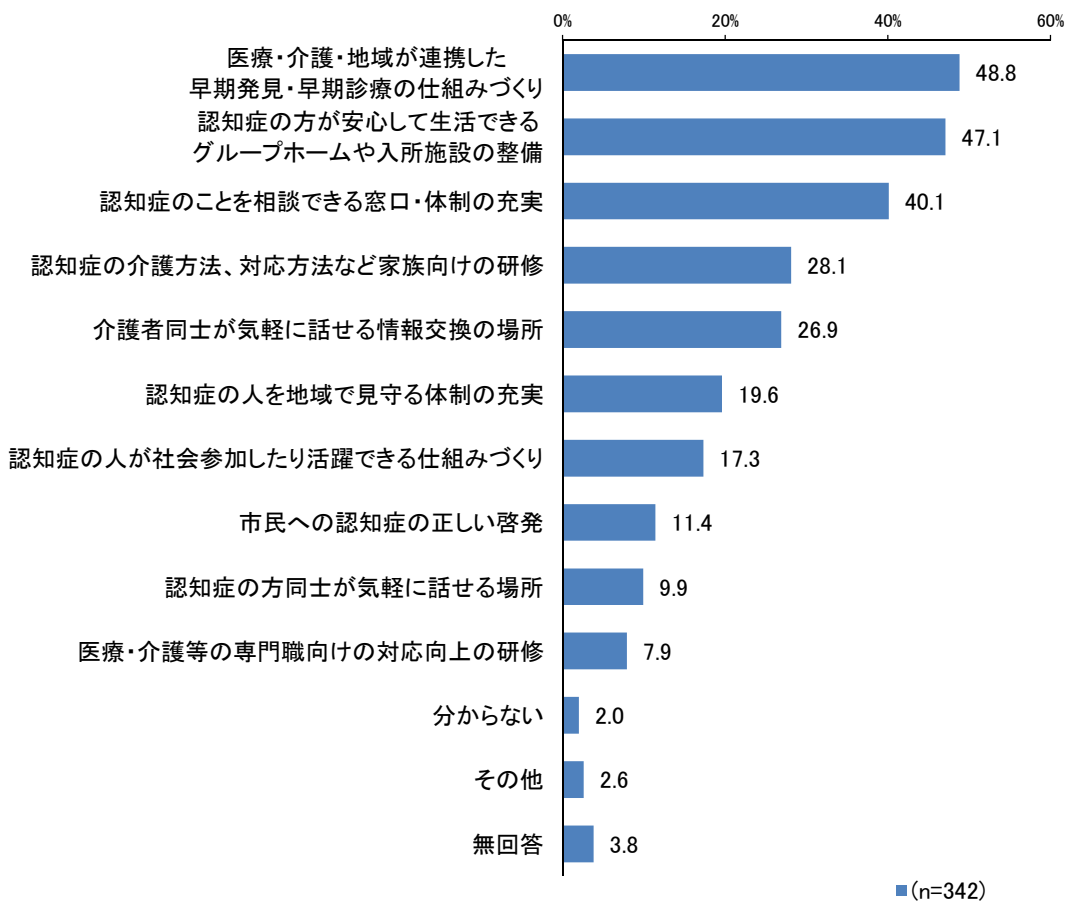


(7) 重点を置くべき認知症施策

問24 認知症の施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(あてはまるもの3つまで)

重点を置くべき認知症施策については、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診療の仕組みづくり」が48.8%で最も高く、次いで「認知症の方が安心して生活できるグループホームや入所施設の整備」が47.1%、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が40.1%となっている。

【重点を置くべき認知症施策】

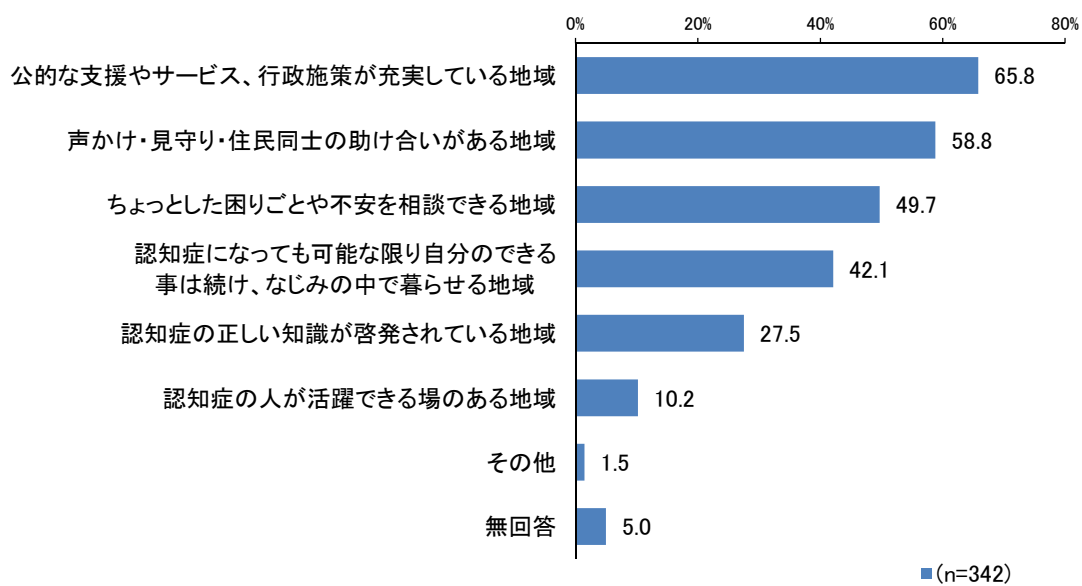


(8) 認知症になっても安心して暮らしやすい地域

問25 あなたやあなたの家族が認知症になった場合、安心して暮らしやすい地域とはどんな地域だと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

認知症になっても安心して暮らしやすい地域については、「公的な支援やサービス、行政施策が充実している地域」が 65.8%で最も高く、次いで「声かけ・見守り・住民同士の助け合いがある地域」が 58.8%、「ちょっとした困りごとや不安を相談できる地域」が 49.7%となっている。

【認知症になっても安心して暮らしやすい地域】

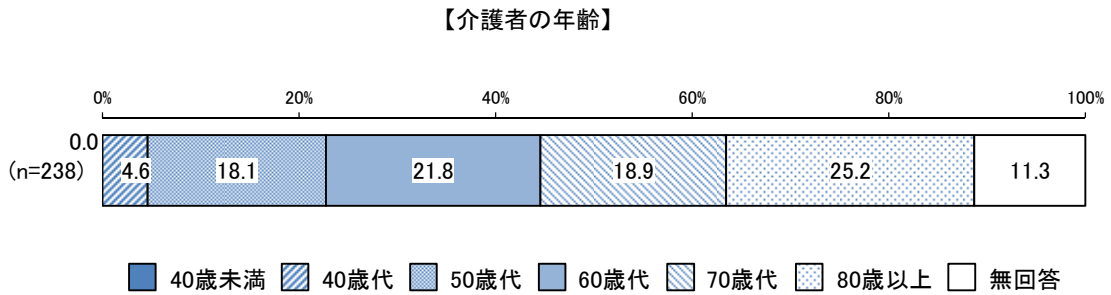


Ⅲ 調査結果（家族）

1. 主に介護を行っている人について

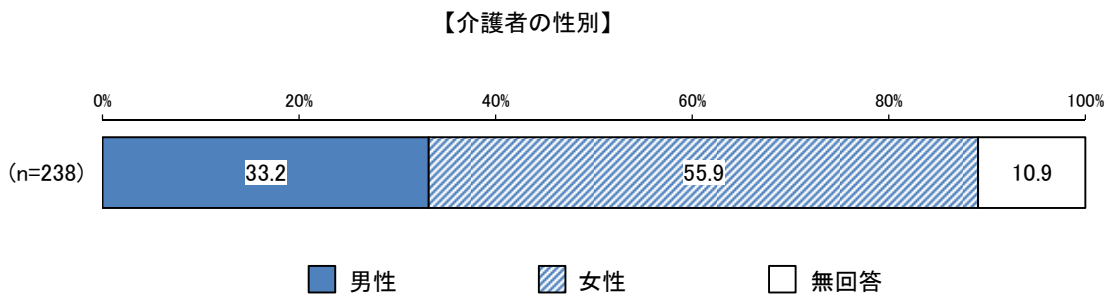
(1) 介護者の年齢

介護者の年齢は、「80歳以上」が25.2%で最も高く、次いで「60歳代」が21.8%、「70歳代」が18.9%、「50歳代」が18.1%となっている。



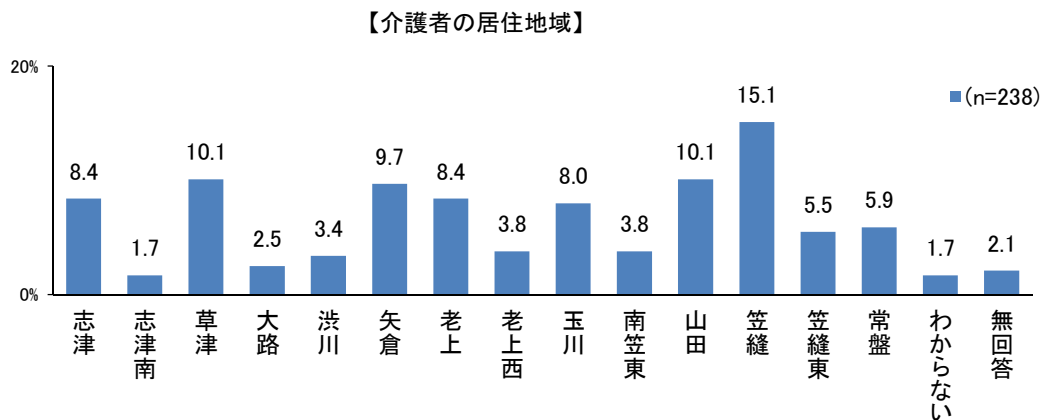
(2) 介護者の性別

介護者の性別は、「男性」が33.2%、「女性」が55.9%となっている。



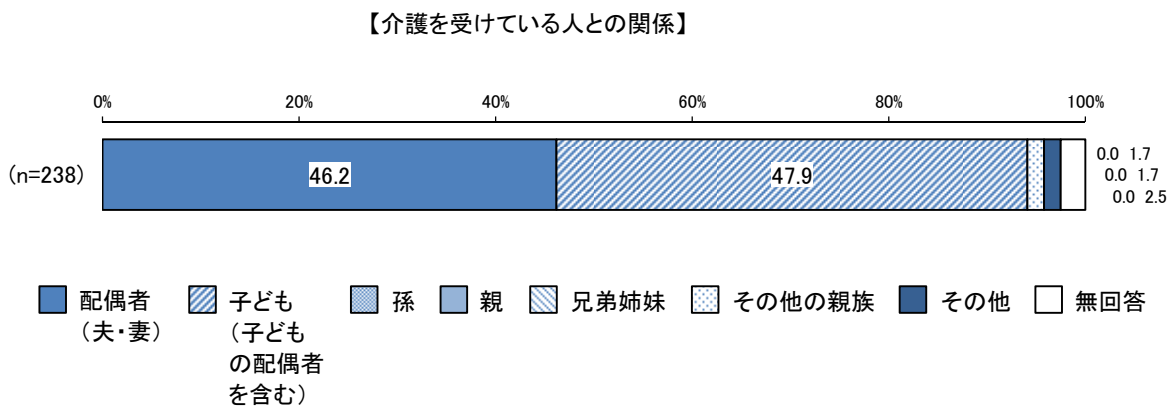
(3) 介護者の居住地域

介護者の居住地域は、「笠縫」が15.1%で最も高く、次いで「草津」と「山田」がともに10.1%、「矢倉」が9.7%、「志津」と「老上」がともに8.4%、「玉川」が8.0%となっている。



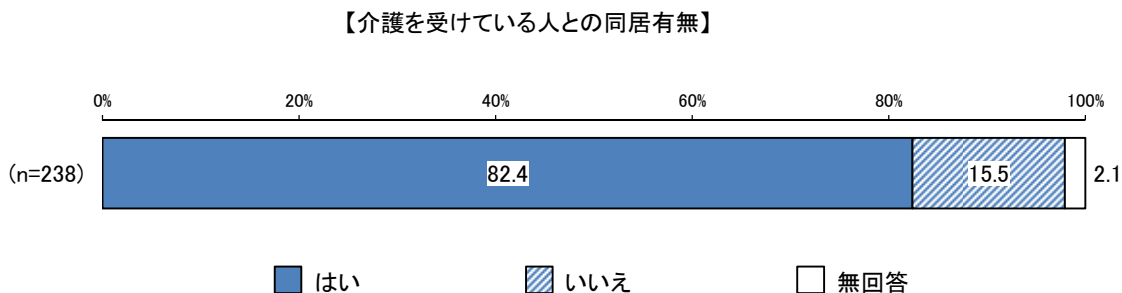
(4) 介護を受けている人との関係

介護を受けている人との関係は、「子ども(子どもの配偶者を含む)」が47.9%、「配偶者(夫・妻)」が46.2%となっている。



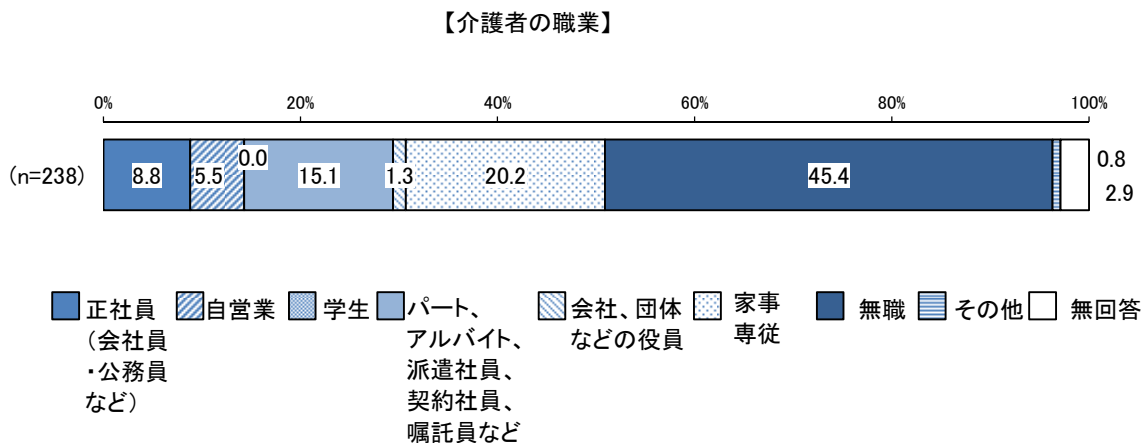
(5) 介護を受けている人との同居有無

介護を受けている人と同居しているかについては、「はい」が82.4%、「いいえ」が15.5%となっている。



(6) 介護者の職業

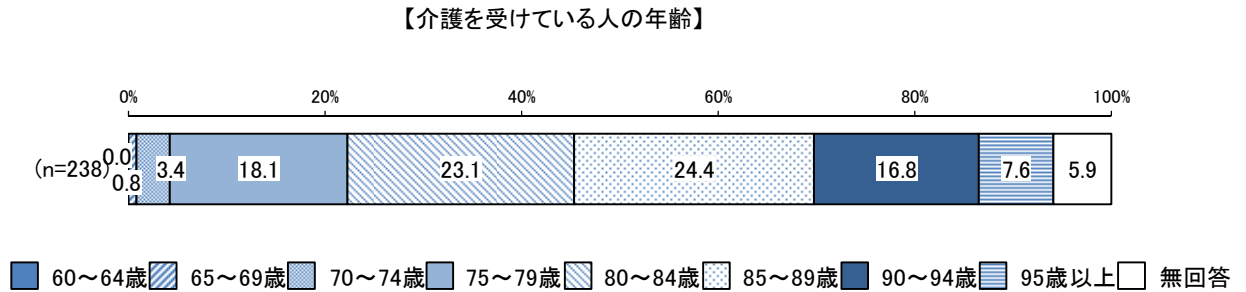
介護者の職業は、「無職」が45.4%で最も高く、次いで「家事専従」が20.2%、「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託員など」が15.1%となっている。



2. 介護を受けている本人について

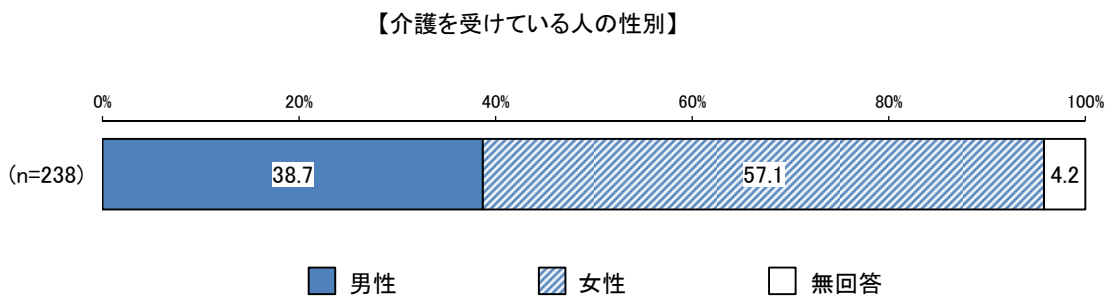
(1) 介護を受けている人の年齢

介護を受けている人の年齢は、「85～89 歳」が 24.4%で最も高く、次いで「80～84 歳」が 23.1%、「75～79 歳」が 18.1%、「90～94 歳」が 16.8%となっている。



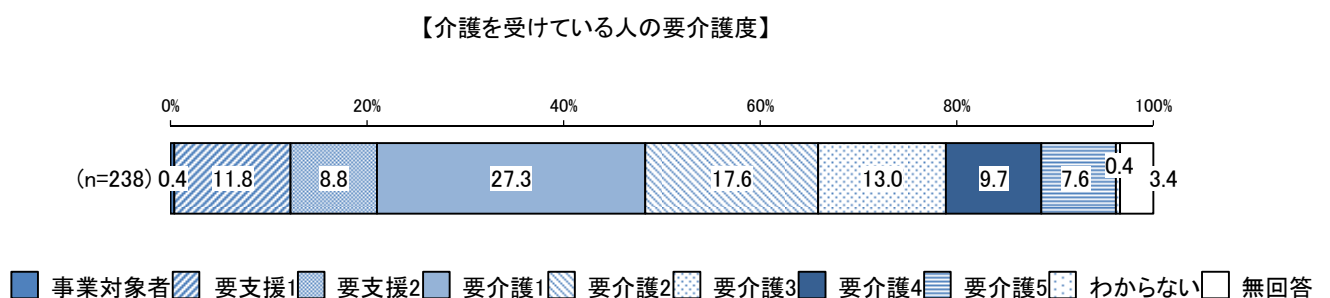
(2) 介護を受けている人の性別

介護を受けている人の性別は、「男性」が 38.7%、「女性」が 57.1%となっている。



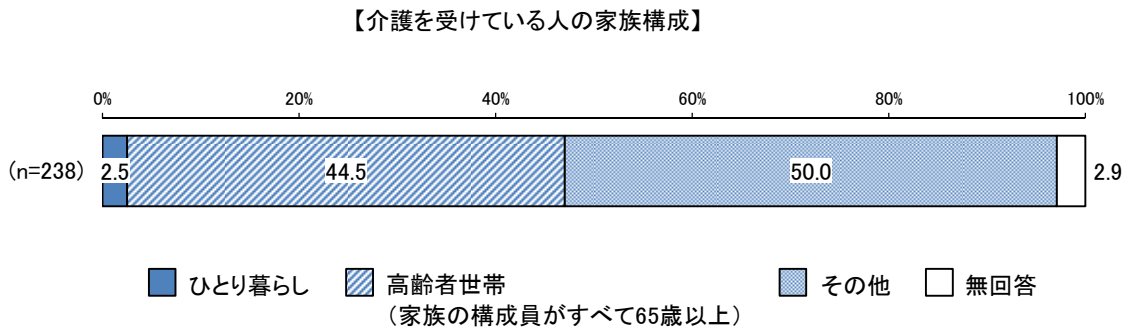
(3) 介護を受けている人の要介護度

介護を受けている人の要介護度は、「要介護 1」が 27.3%で最も高く、次いで「要介護 2」が 17.6%、「要介護 3」が 13.0%となっている。



(4) 介護を受けている人の家族構成

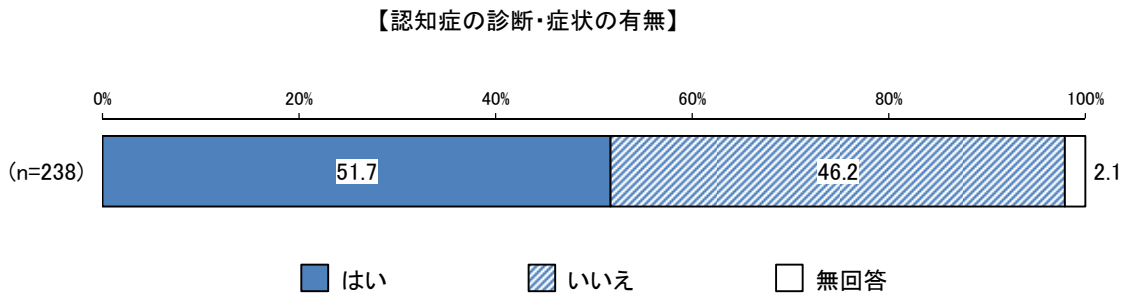
介護を受けている人の家族構成は、「その他」が 50.0%で最も高く、次いで「高齢者世帯(家族の構成員がすべて 65 歳以上)」が 44.5%、「ひとり暮らし」が 2.5%となっている。



(5) 認知症の診断・症状の有無

問3 介護を受けておられるご本人は、認知症の診断を受けておられる、または認知症の症状がありますか。

認知症の診断を受けている、または、認知症の症状があるかについては、「はい」が 51.7%、「いいえ」が 46.2%となっている。



3. 発症から相談、医療機関へのつながりの状況について

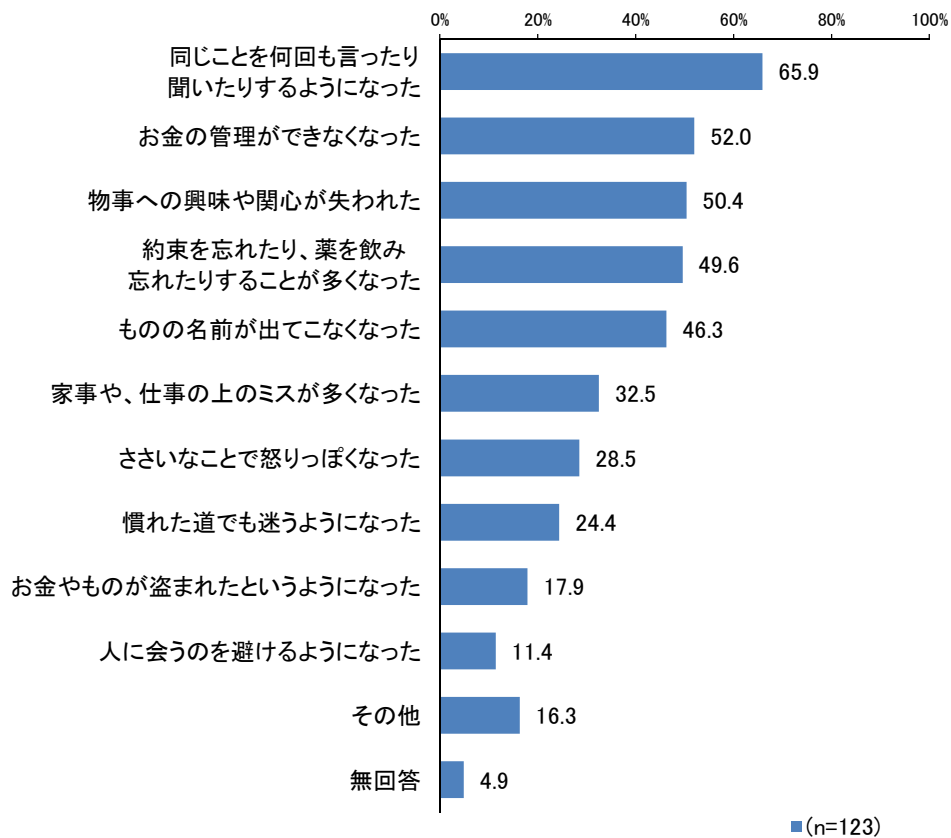
(1) 認知症と思い始めたきっかけ

※問4～問23は、問3で「1. はい」と答えた方にお伺いします。

問4 あなたは、介護を受けておられるご本人の、どのような様子を見て、認知症ではないかと思い始めましたか。(あてはまるものすべてに○)

認知症と思い始めたきっかけについては、「同じことを何回も言ったり聞いたりするようになった」が65.9%で最も高く、次いで「お金の管理ができなくなった」が52.0%、「物事への興味や関心が失われた」が50.4%、「約束を忘れたり、薬を飲み忘れたりすることが多くなった」が49.6%、「ものの名前が出てこなくなった」が46.3%となっている。

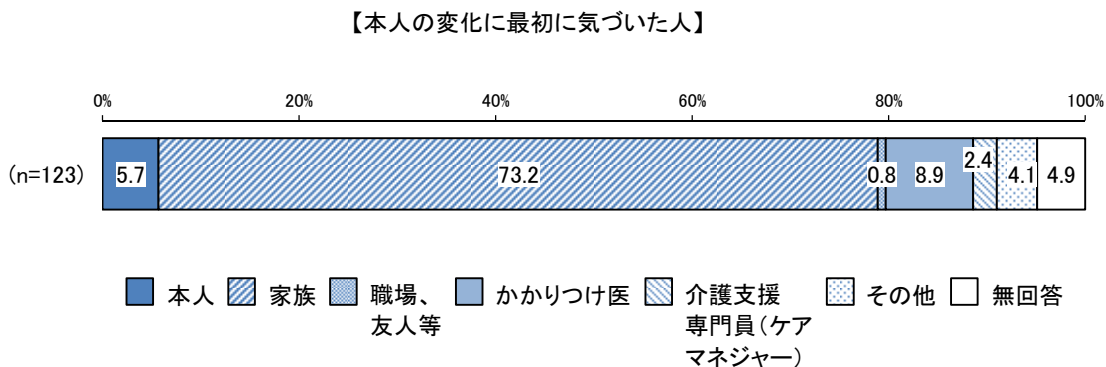
【認知症と思い始めたきっかけ】



(2) 本人の変化に最初に気づいた人

問5 認知症のご本人の変化に誰が最初に気づきましたか？（いずれか1つに○）

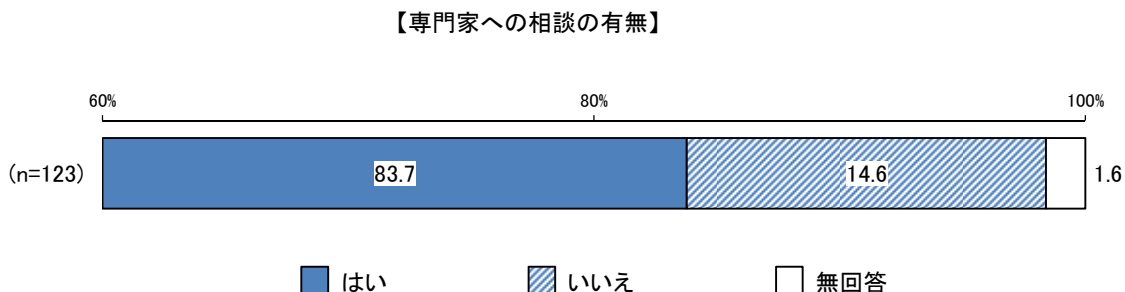
本人の変化に最初に気づいた人は、「家族」が73.2%で最も高く、次いで「かかりつけ医」が8.9%、「本人」が5.7%となっている。



(3) 専門家への相談の有無

問6 あなたは、認知症のご本人のことで、家族・知人以外の専門家に相談をしたことがありますか？

家族・知人以外の専門家に相談したことがあるかについては、「はい」が83.7%、「いいえ」が14.6%となっている。

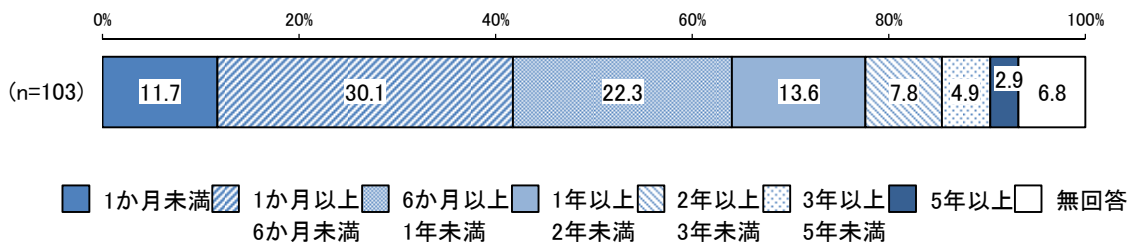


(4) 認知症と思い始めてから専門家に相談するまでの期間

問7 あなたが、家族・知人以外の専門家に認知症のことで相談したのは、あなたが認知症ではないかと思い始めてからどのくらいの期間ですか。

認知症と思い始めてから専門家に相談するまでの期間については、「1か月以上6か月未満」が30.1%で最も高く、次いで「6か月以上1年未満」が22.3%、「1年以上2年未満」が13.6%となっている。

【認知症と思い始めてから専門家に相談するまでの期間】

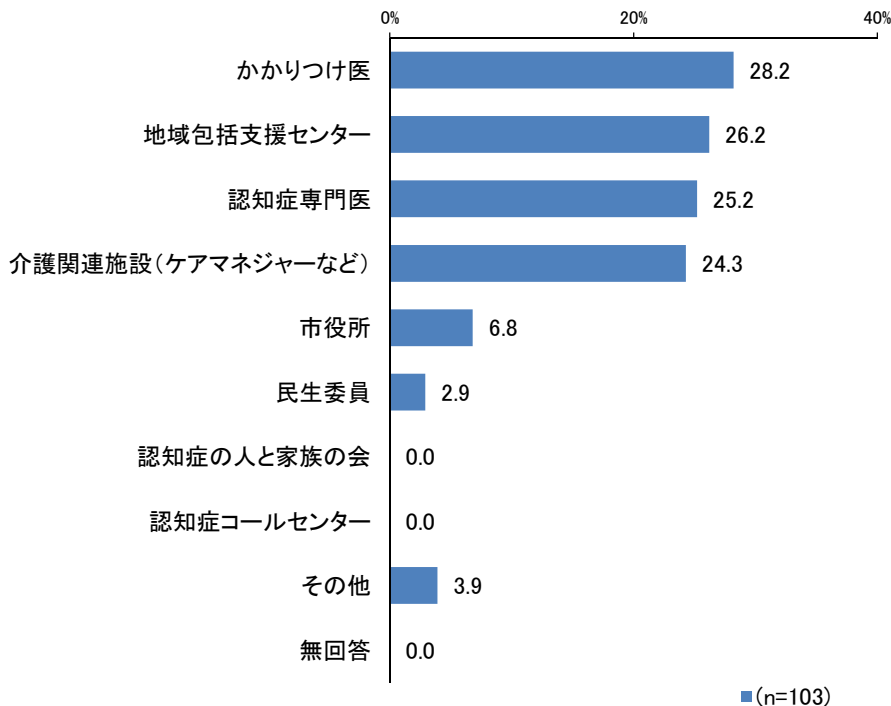


(5) 認知症を最初に相談した機関

問8 家族・知人以外で最初に、認知症の相談をしたところはどこですか。

家族・知人以外で最初に認知症の相談をしたところについては、「かかりつけ医」が28.2%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が26.2%、「認知症専門医」が25.2%、「介護関連施設(ケアマネジャーなど)」が24.3%となっている。

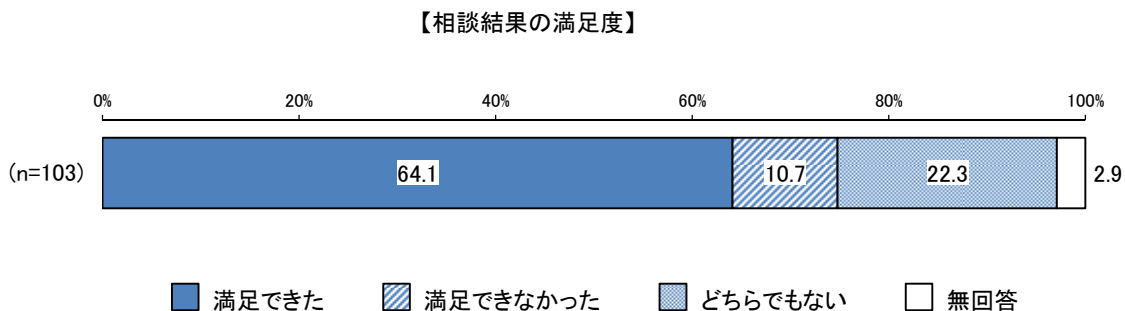
【認知症を最初に相談した機関】



(6) 相談結果の満足度

問9 相談の結果は、満足できましたか。

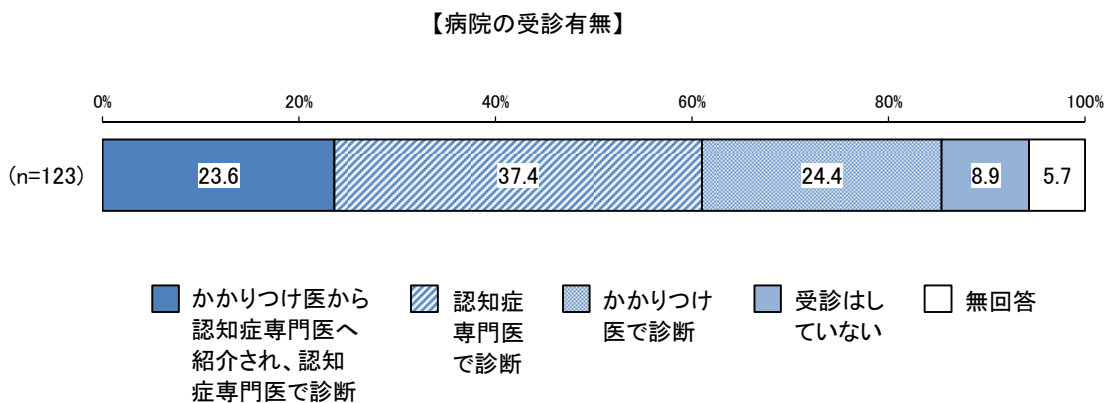
相談の結果については、「満足できた」が64.1%で最も高く、次いで「どちらでもない」が22.3%、「満足できなかった」が10.7%となっている。



(7) 病院の受診有無

問10 介護を受けておられる方は認知症について病院をどのような形で受診し、診断を受けられましたか。

認知症について病院をどのような形で受診し、診断を受けたかについては、「認知症専門医で診断」が37.4%で最も高く、次いで「かかりつけ医で診断」が24.4%、「かかりつけ医から認知症専門医へ紹介され、認知症専門医で診断」が23.6%となっている。

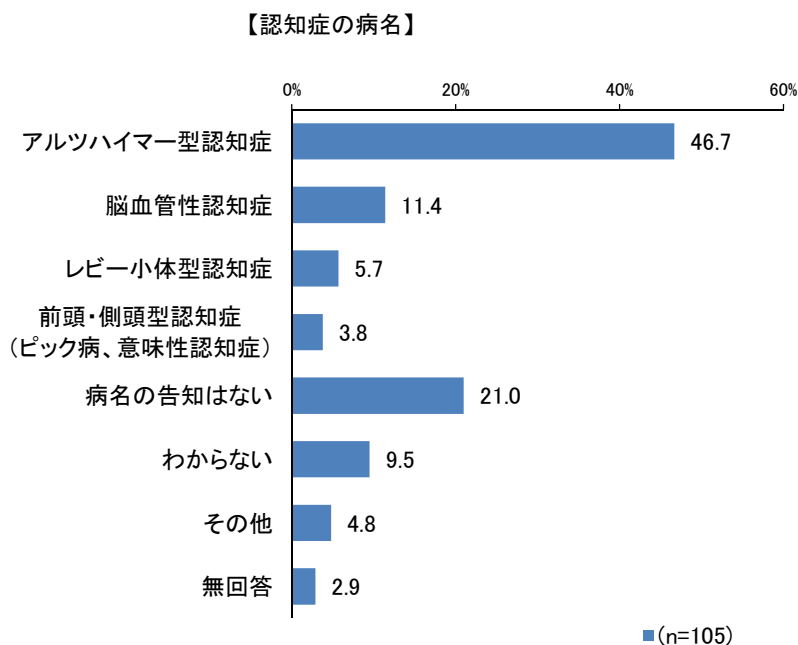


(8) 認知症の病名

※問11～14は、問10で「1～3」と答えられた方にお伺いします。

問11 認知症の病名は次のどれですか。

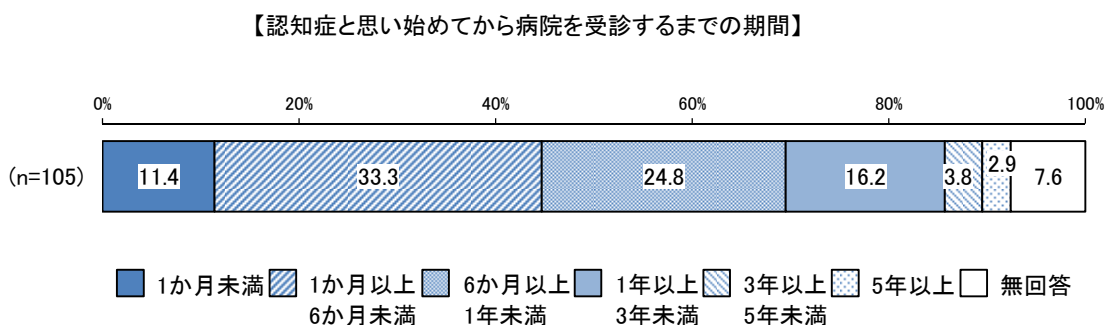
病院で診断を受けた結果は、「アルツハイマー型認知症」が46.7%で最も高く、次いで「病名の告知はない」が21.0%、「脳血管性認知症」が11.4%、「わからない」が9.5%、「レビー小体型認知症」が5.7%、「その他」が4.8%、「前頭・側頭型認知症(ピック病、意味性認知症)」が3.8%となっている。



(9) 認知症と思い始めてから病院を受診するまでの期間

問12 介護を受けておられる方が、病院に受診されたのは、認知症ではないかとあなたが思い始めてからどのくらいの期間ですか。

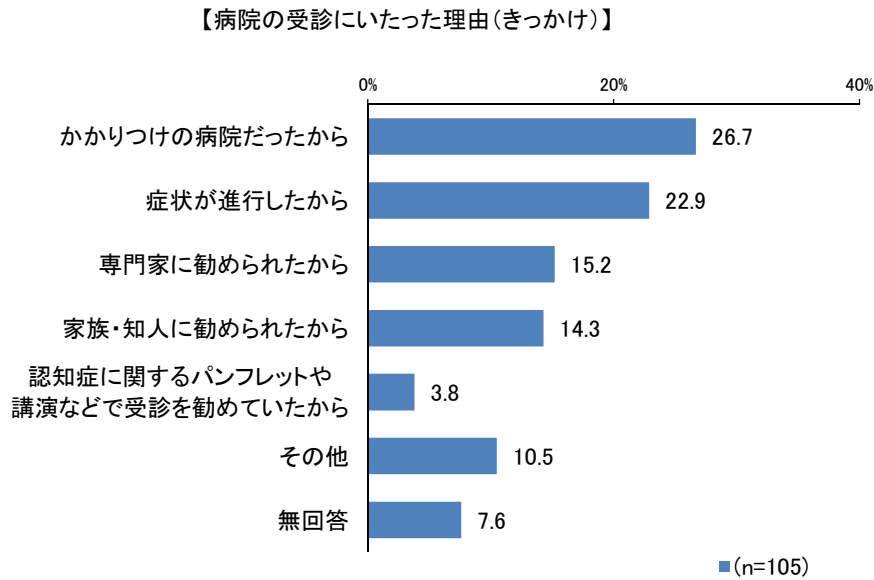
認知症と思い始めてから病院を受診するまでの期間については、「1か月以上6か月未満」が33.3%で最も高く、次いで「6か月以上1年未満」が24.8%、「1年以上3年未満」が16.2%、「1か月未満」が11.4%となっている。



(10) 病院の受診にいたった理由(きっかけ)

問13 受診にいたった理由(きっかけ)は何ですか。

病院の受診にいたった理由(きっかけ)については、「かかりつけの病院だったから」が26.7%で最も高く、次いで「症状が進行したから」が22.9%、「専門家に勧められたから」が15.2%、「家族・知人に勧められたから」が14.3%、「その他」が10.5%となっている。



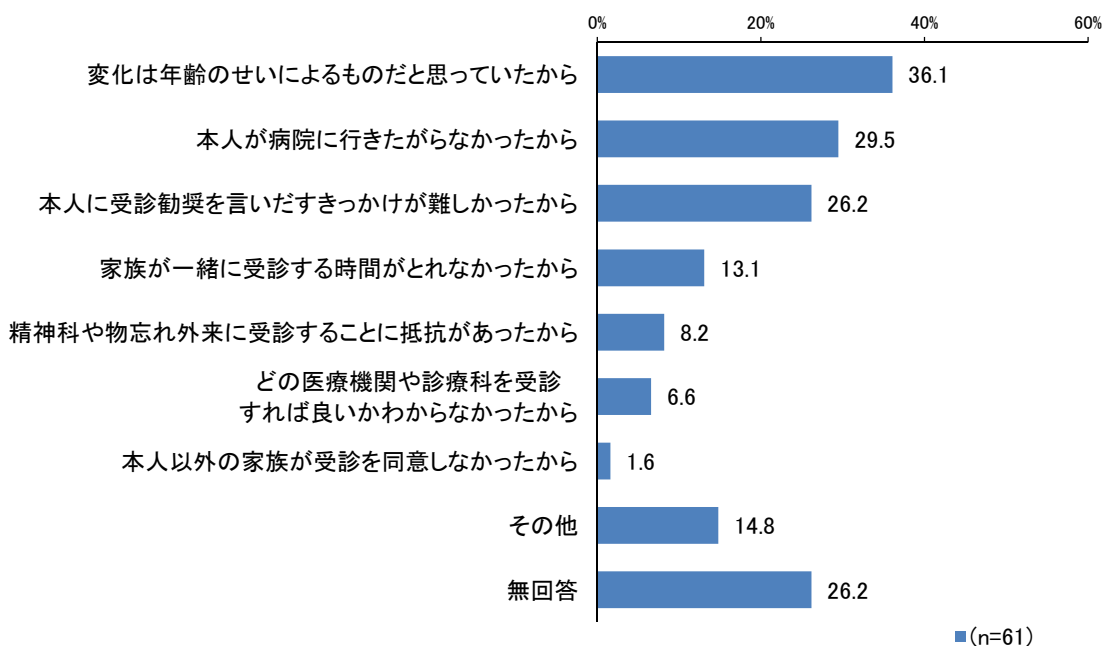
(11) 受診に時間がかかった、または、受診していない理由

※問12で受診に6か月以上かかった(3~6)と回答した方、問10で4. 受診はしていないと回答した方にお伺いします。

問14 受診に6か月以上かかった、または、受診していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

受診に6か月以上かかった、または、受診していない理由は、「変化は年齢のせいによるものだと思っていたから」が36.1%で最も高く、次いで「本人が病院に行きたがらなかったから」が29.5%、「本人に受診勧奨を言いたすきっかけが難しかったから」が26.2%となっている。

【受診に時間がかかった、または、受診していない理由】

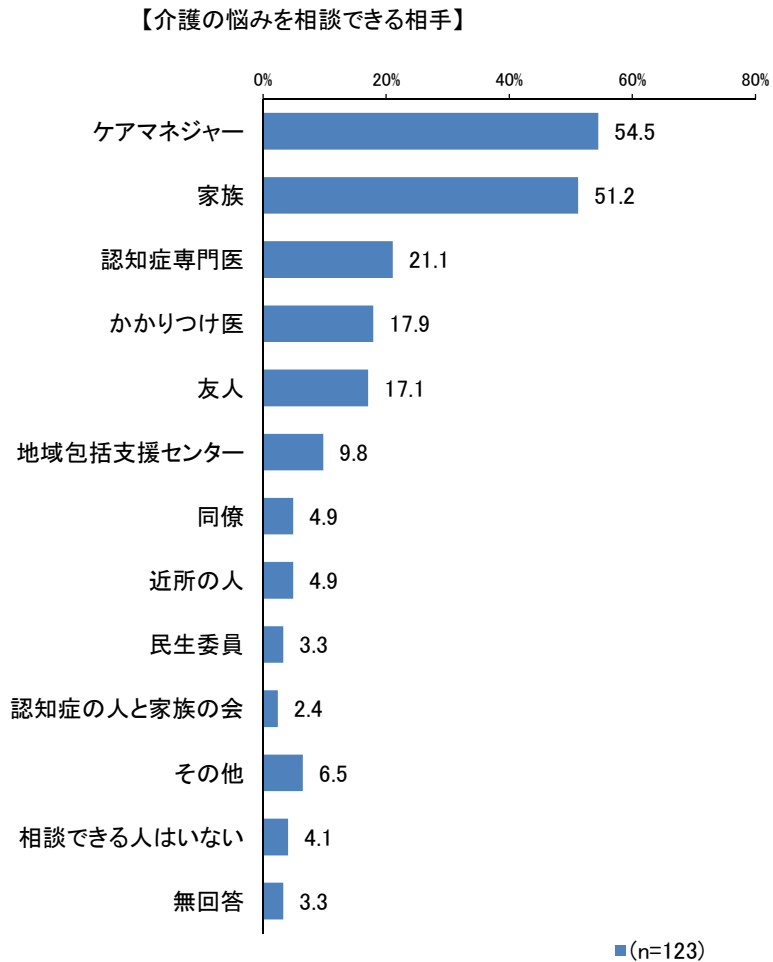


4. 相談相手と周囲とのかかわりについて

(1) 介護の悩みを相談できる相手

問15 あなたは、介護の悩みを相談できる人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

介護の悩みを相談できる相手については、「ケアマネジャー」が54.5%で最も高く、次いで「家族」が51.2%、「認知症専門医」が21.1%、「かかりつけ医」が17.9%、「友人」が17.1%となっている。

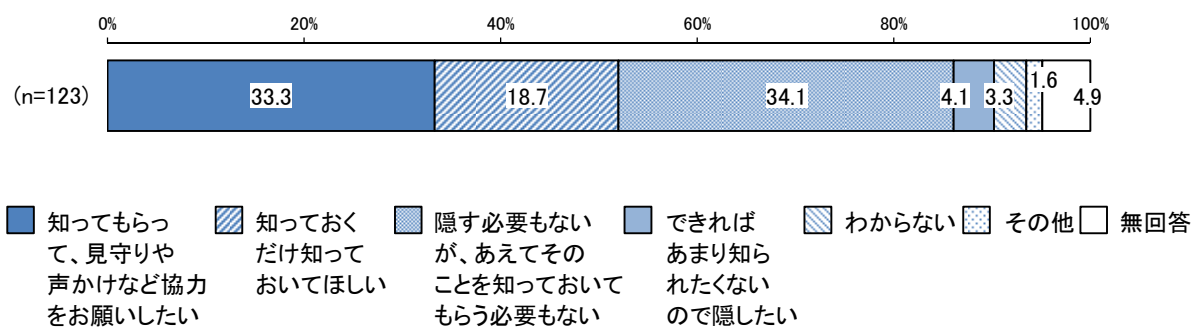


(2) 介護を受けている人の認知症について近所の人に知ってもらいたい

問16 あなたは、介護を受けておられる方が認知症であることを近所の人に知ってもらいたいですか。

介護を受けている人が認知症であることを近所の人に知ってもらいたいかについては、「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」が 34.1%で最も高く、次いで「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が 33.3%、「知っておくだけ知っておいてほしい」が 18.7%となっている。

【介護を受けている人の認知症について近所の人に知ってもらいたい】

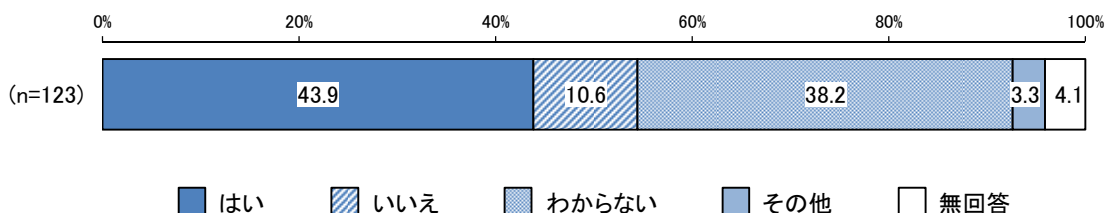


(3) 認知症についての周囲の人の理解状況

問17 あなたは、周囲の人が認知症について理解してくれていると思いますか。

周囲の人が認知症について理解してくれていると思うかについては、「はい」が 43.9%、「いいえ」が 10.6%、「わからない」が 38.2%となっている。

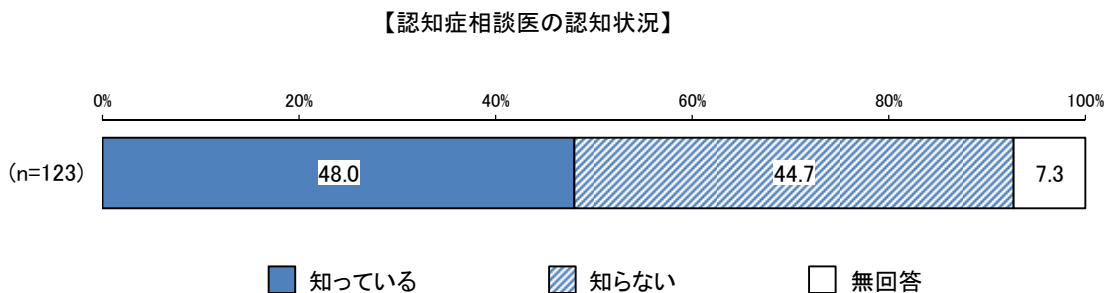
【認知症についての周囲の人の理解状況】



(4) 認知症相談医の認知状況

問18 病院や診療所によって「認知症相談医」がいるところがあることを知っていますか。

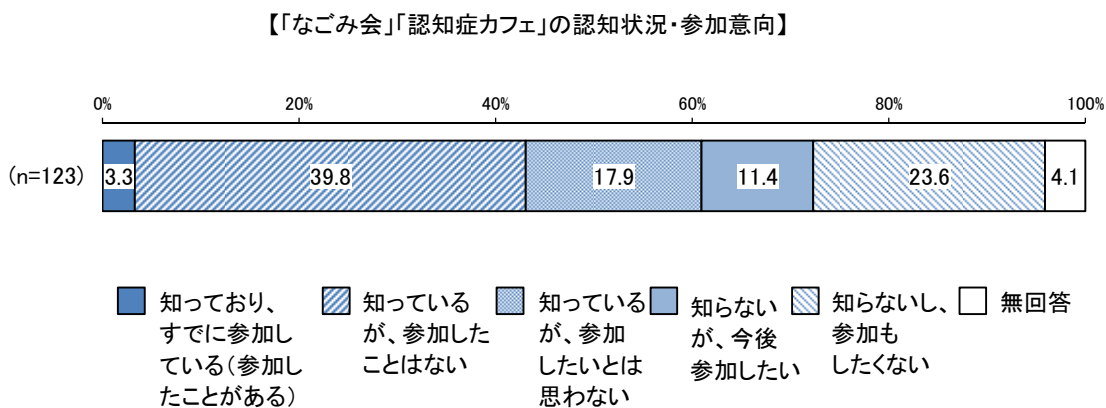
認知症相談医については、「知っている」が48.0%、「知らない」が44.7%となっている。



(5) 「なごみ会」「認知症カフェ」の認知状況・参加意向

問19 毎月、認知症の人と家族の会のつどい「なごみ会」や、「認知症カフェ」が市内で開催されていますが、知っていますか。また、参加しようと思いませんか。

「なごみ会」「認知症カフェ」については、「知っているが、参加したことはない」が39.8%で最も高く、次いで「知らないし、参加もしたくない」が23.6%、「知っているが、参加したいとは思わない」が17.9%となっている。

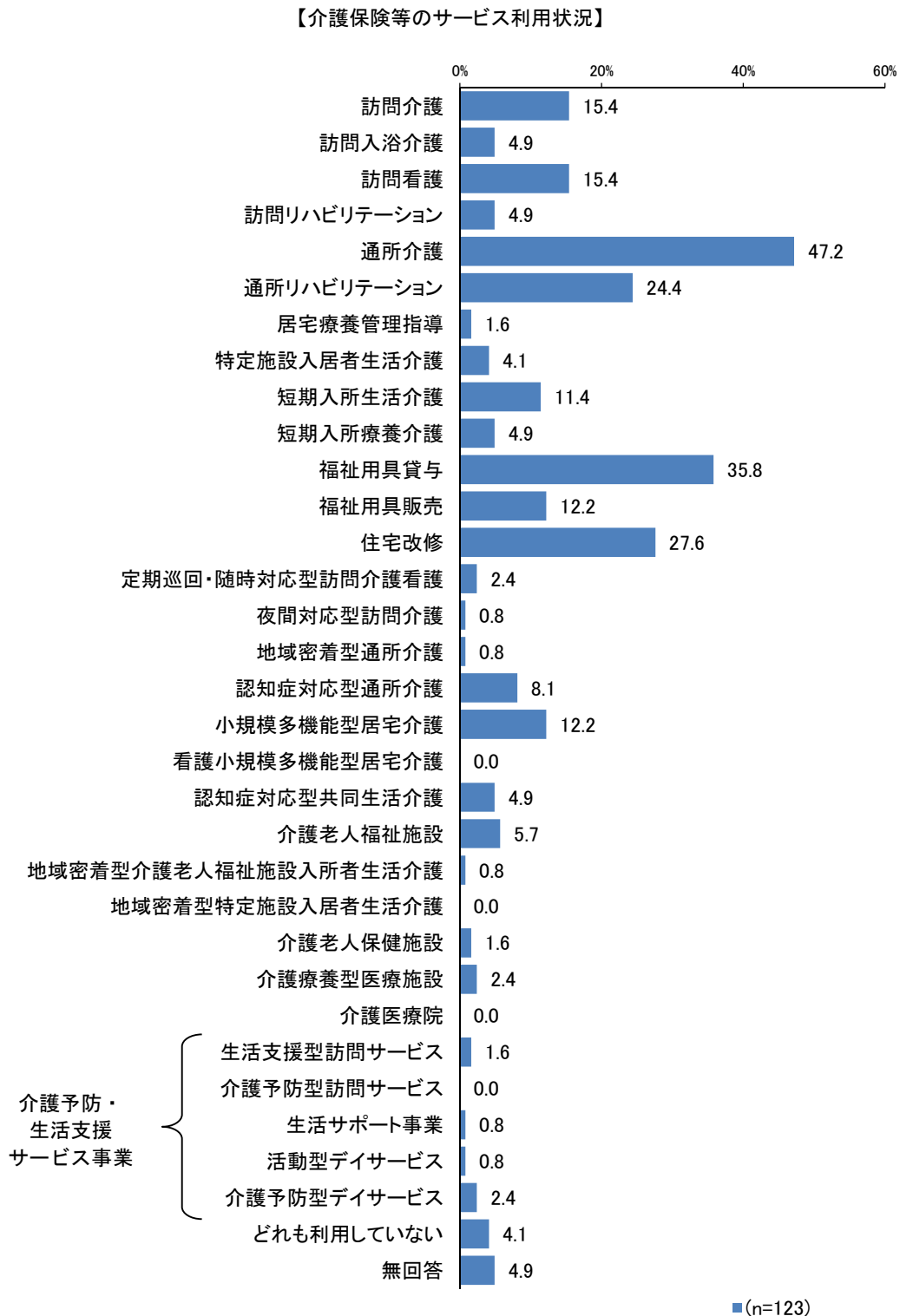


5. サービス・制度について

(1)介護保険等のサービス利用状況

問20 介護を受けておられる方は、介護保険等のサービスを利用されていますか。利用中のサービスすべてに○をつけてください。

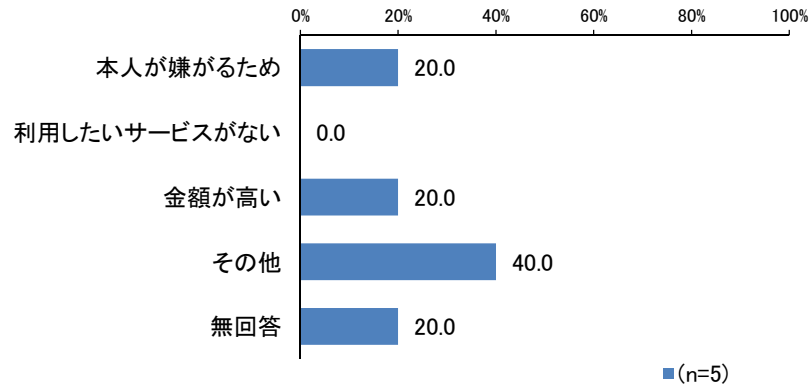
介護保険等のサービス利用状況については、「通所介護」が47.2%で最も高く、次いで「福祉用具貸与」が35.8%、「住宅改修」が27.6%、「通所リハビリテーション」が24.4%となっている。



■利用していない理由

介護保険等のサービスを利用していない理由については、「その他」が 40.0% (2 件) で最も高く、次いで「本人が嫌がるため」と「金額が高い」がともに 20.0% (1 件) となっている。

【介護保険等のサービスを利用していない理由】

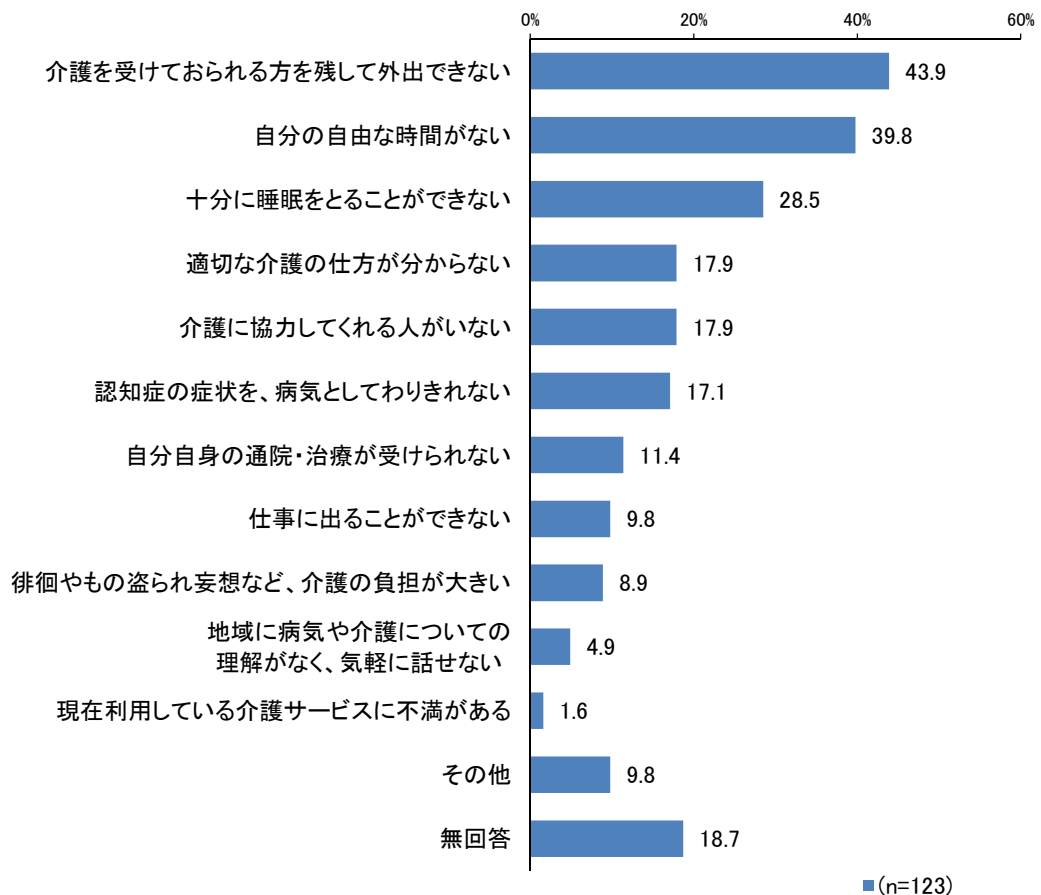


(2) 認知症の人の介護で困ることや負担に感じること

問21 認知症の方を介護していて困ること、負担に感じることはどのような時ですか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の人の介護で困ることや負担に感じることについては、「介護を受けておられる方を残して外出できない」が 43.9% で最も高く、次いで「自分の自由な時間がない」が 39.8%、「十分に睡眠をとることができない」が 28.5% となっている。

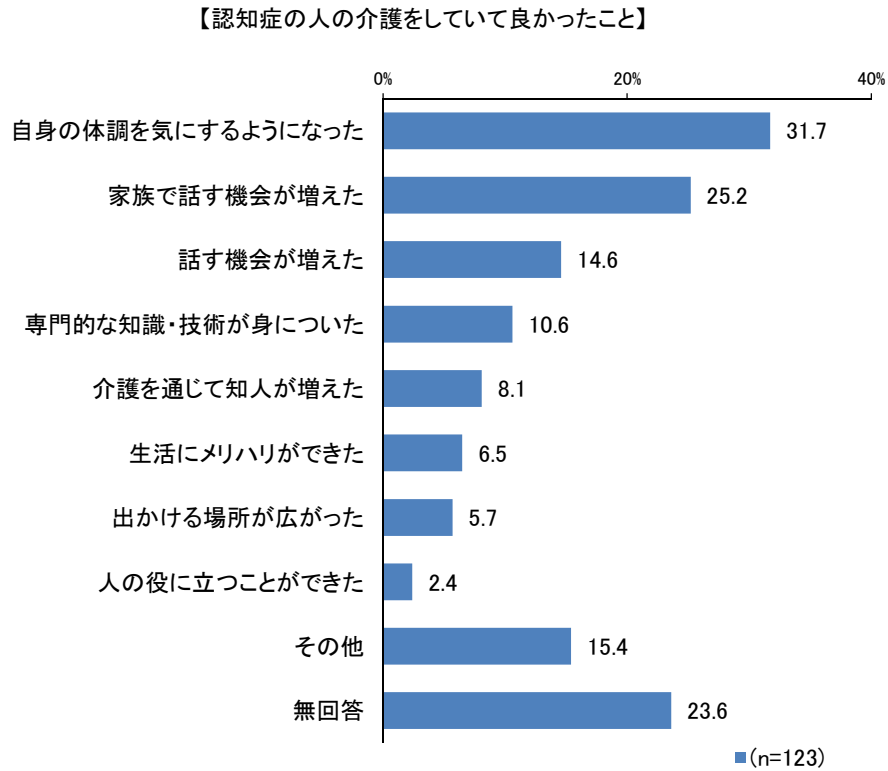
【認知症の人の介護で困ることや負担に感じること】



(3) 認知症の人の介護をしていて良かったこと

問22 認知症の方を介護していて、良かったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の人の介護をしていて良かったことについては、「自身の体調を気にするようになった」が 31.7%で最も高く、次いで「家族で話す機会が増えた」が 25.2%となっている。

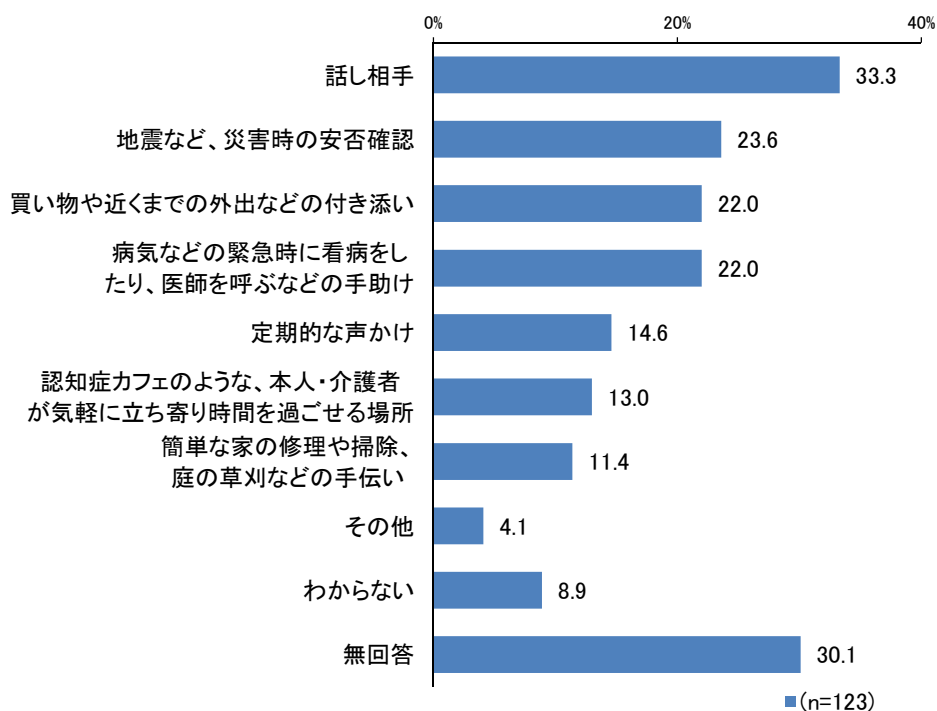


(4) 認知症の人・介護している人に対してあってほしい地域支援

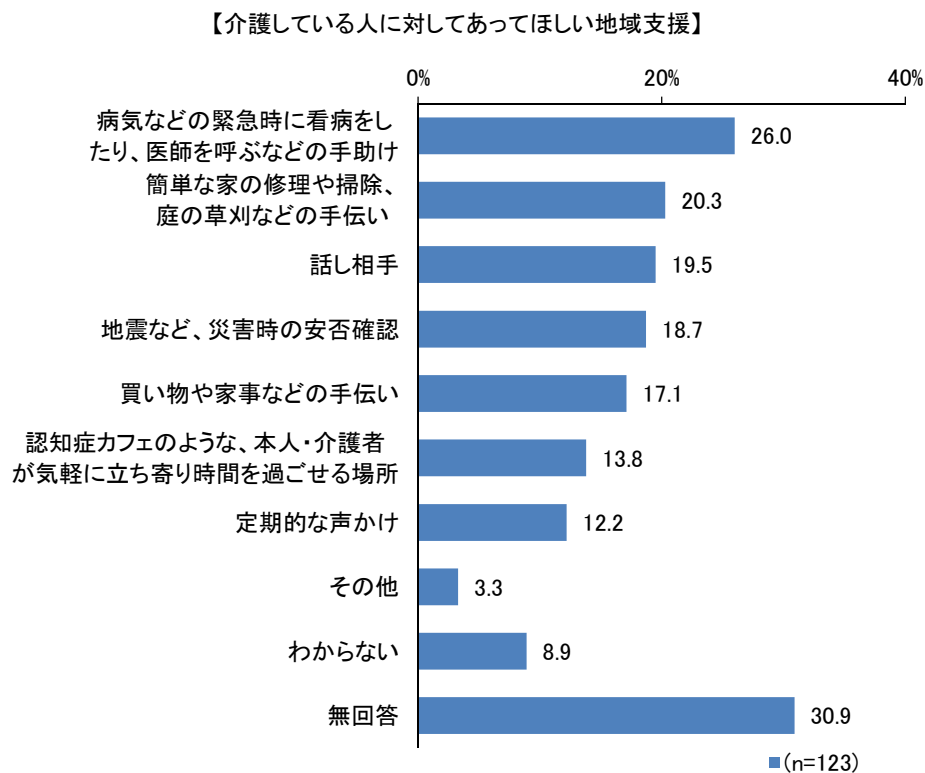
問23 認知症の方を介護している者として、身近に地域であつたらいいと思うものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

認知症の人に対してあってほしい地域支援については、「話し相手」が 33.3%で最も高く、次いで「地震など、災害時の安否確認」が 23.6%、「買い物や近くまでの外出などの付き添い」と「病気などの緊急時に看病をしたり、医師を呼ぶなどの手助け」がともに 22.0%となっている。

【認知症の人に対してあってほしい地域支援】



介護している人に対してあってほしい地域支援については、「病気などの緊急時に看病をしたり、医師を呼ぶなどの手助け」が 26.0%で最も高く、次いで「簡単な家の修理や掃除、庭の草刈などの手伝い」が 20.3%、「話し相手」が 19.5%、「地震など、災害時の安否確認」が 18.7%、「買い物や家事などの手伝い」が 17.1%となっている。

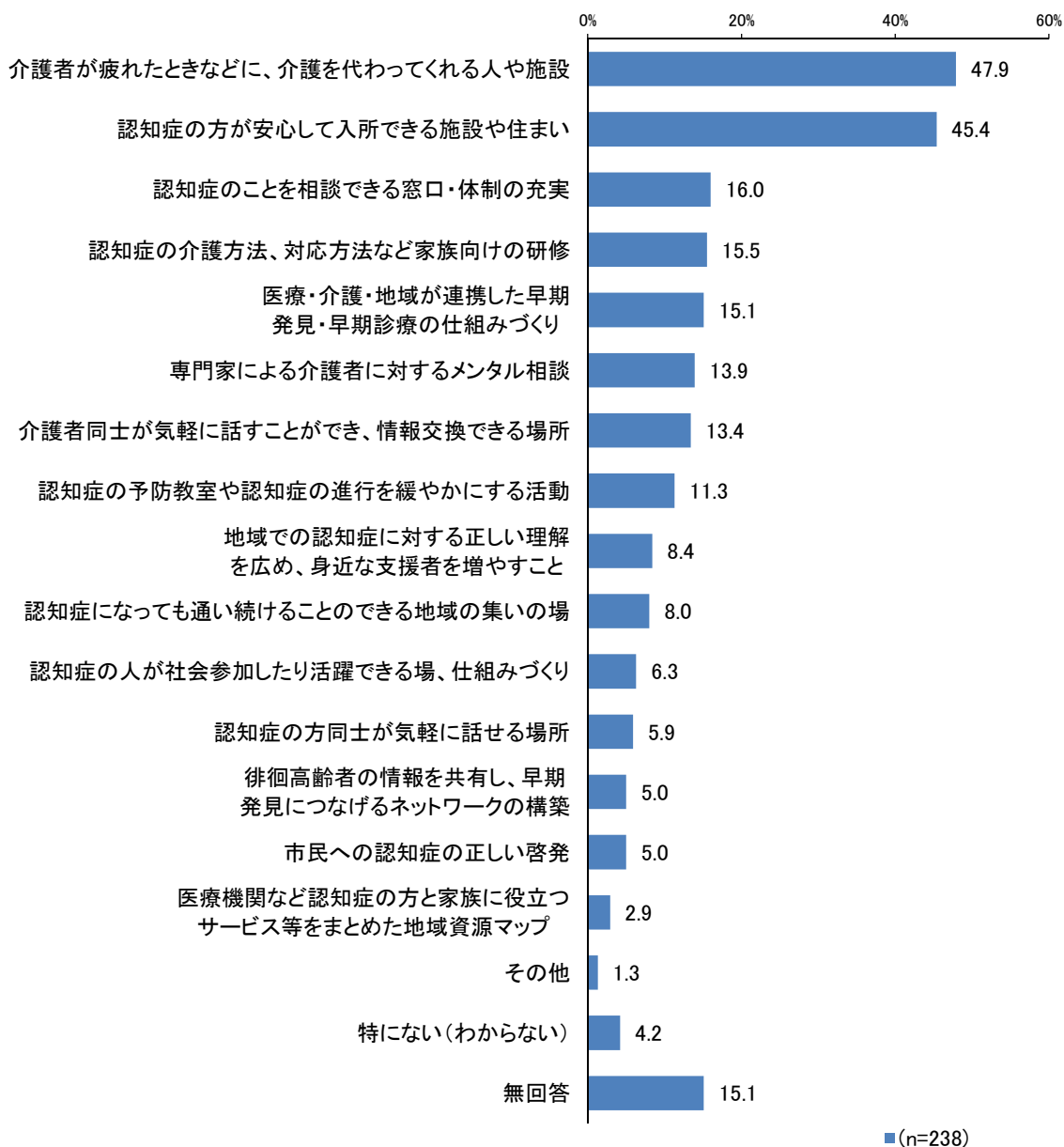


(5) 認知症対策として重要な施策

問24 認知症の対策として、重要だと思われる施策は何ですか。(特に重要と思うものを3つまでお答えください。)

認知症対策として重要な施策については、「介護者が疲れたときなどに、介護を代わってくれる人や施設」が47.9%で最も高く、次いで「認知症の方が安心して入所できる施設や住まい」が45.4%となっている。

【認知症対策として重要な施策】



(6) 認知症になっても安心して暮らしやすい地域

問25 あなたやあなたの家族が認知症になった場合、安心して暮らしやすい地域とはどんな地域だと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

認知症になっても安心して暮らしやすい地域については、「公的な支援やサービス、行政施策が充実している地域」が 46.2%で最も高く、次いで「声かけ・見守り・住民同士の助け合いがある地域」が 42.0%、「認知症になっても可能な限り自分のできる事は続け、なじみの中で暮らせる地域」が 40.8%、「ちょっとした困りごとや不安を相談できる地域」が 37.4%となっている。

【認知症になっても安心して暮らしやすい地域】

